

訂換

保勢物語圖表

下



少くなくよまらうけふ

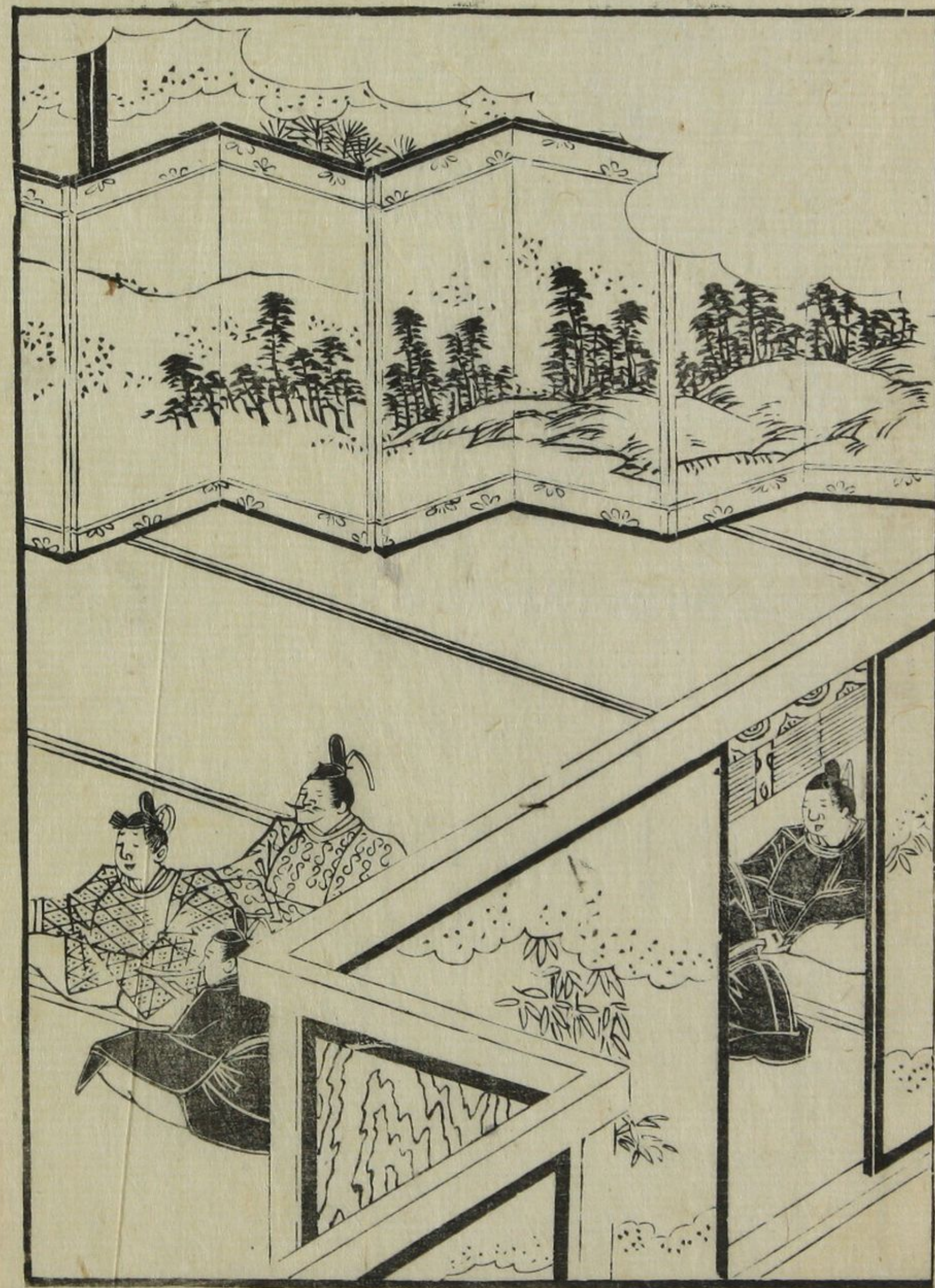
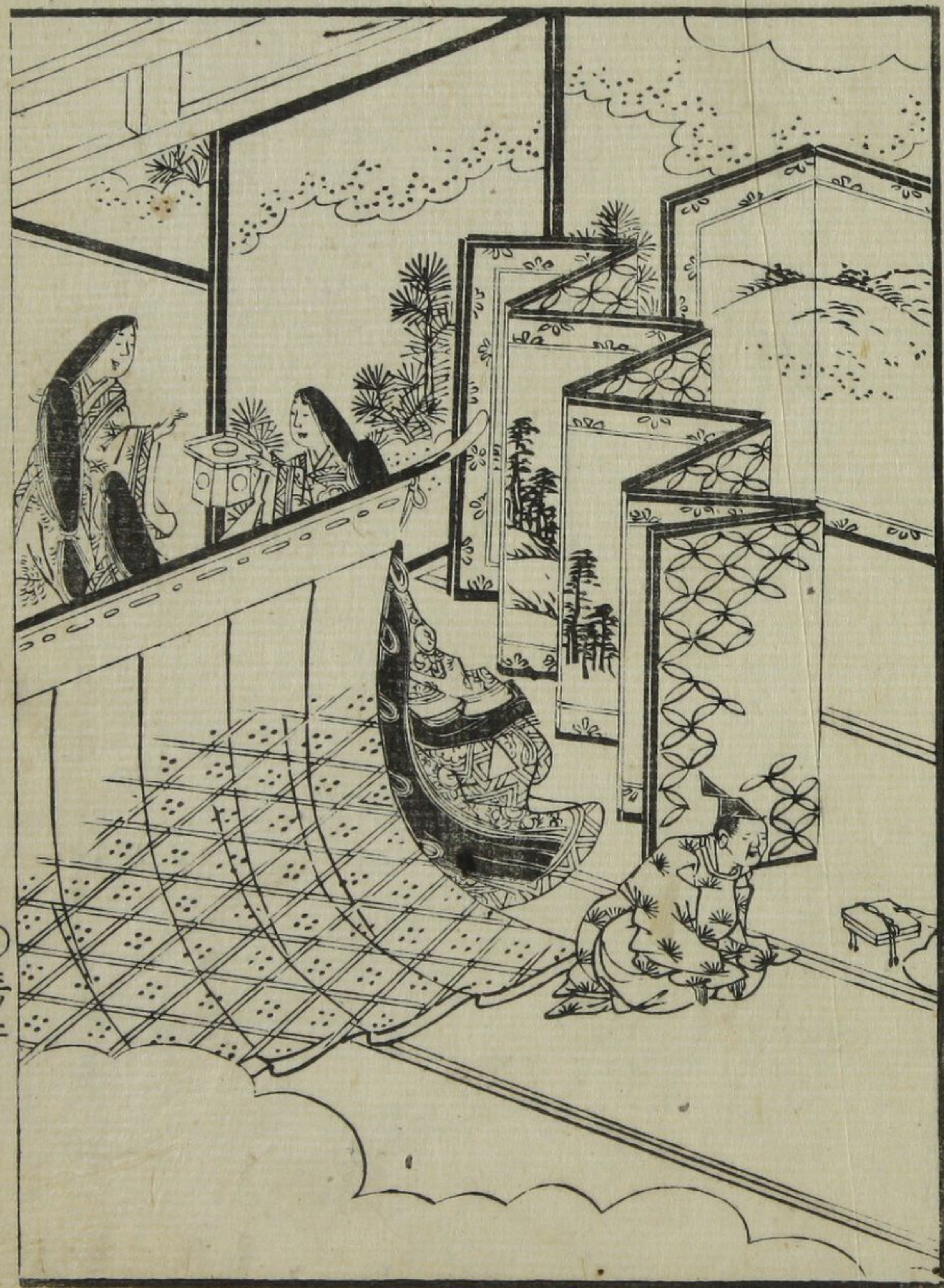


⑤ かしらぐらふをいへるまゝにせよ  
よしとていふまゝにせよ  
ゆゑ

わがまゝにせよ  
かゝるまゝにせよ

あれこれいふまゝにせよ  
よし申さるゝまゝにせよ

⑥ かしらぐらふをいへるまゝにせよ  
よし申さるゝまゝにせよ





三三



まゝにたゞよふ

ぬれにぞーひてさうける事れらん

まゝにたゞよふ

⑪ じーたのおとよさるゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい  
たりし條のていふおまゝのていふかゝりたるおまゝのてい

まゝにたゞよふ

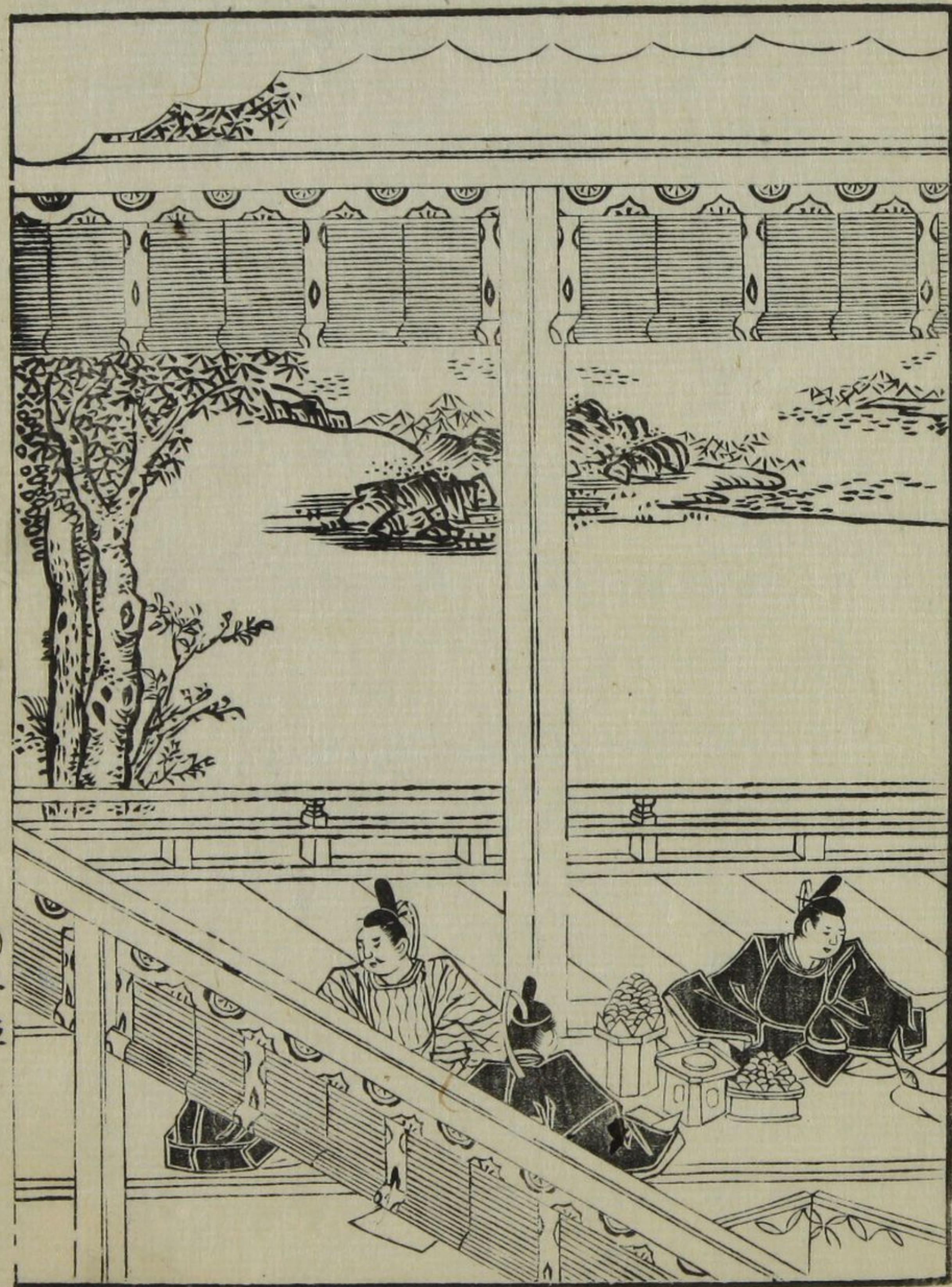
まゝにたゞよふ

少らんをみる。みちのまよひをりたるたぢや。面をたぢや。おなり  
り。祇帝六十余の中。に権電とよふ。たぢや。おなり。まゝに  
りの若さをめ。権電とよふ。たぢや。おなり。まゝに

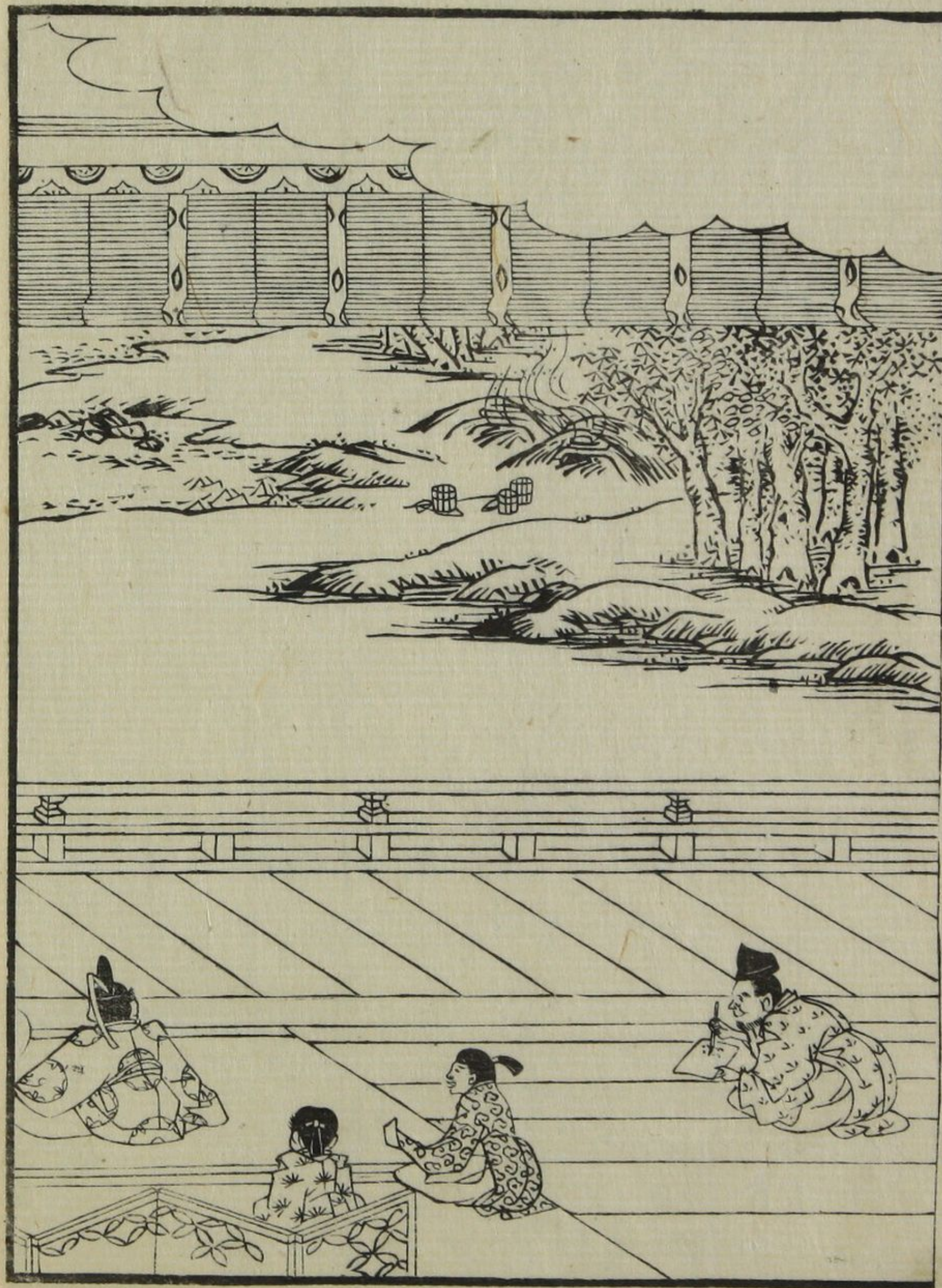
⑫

昔惟高のまよひをみる。みちのまよひをりたるたぢや。面をたぢや。おなり  
り。祇帝六十余の中。に権電とよふ。たぢや。おなり。まゝに  
りの若さをめ。権電とよふ。たぢや。おなり。まゝに

まゝにたゞよふ  
まゝにたゞよふ  
まゝにたゞよふ



三ノ五







三十一





Stellen Sie sich vor, Sie sind ein Kind, das  
auf der Welt ist und alles neu erlebt.

Das ist die Aufgabe der Kunst.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.  
Die Kunst ist die Sprache der Seele.  
Die Kunst ist die Sprache der Seele.  
Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.  
Die Kunst ist die Sprache der Seele.  
Die Kunst ist die Sprache der Seele.  
Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.  
Die Kunst ist die Sprache der Seele.  
Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.

Die Kunst ist die Sprache der Seele.



かしらうにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ

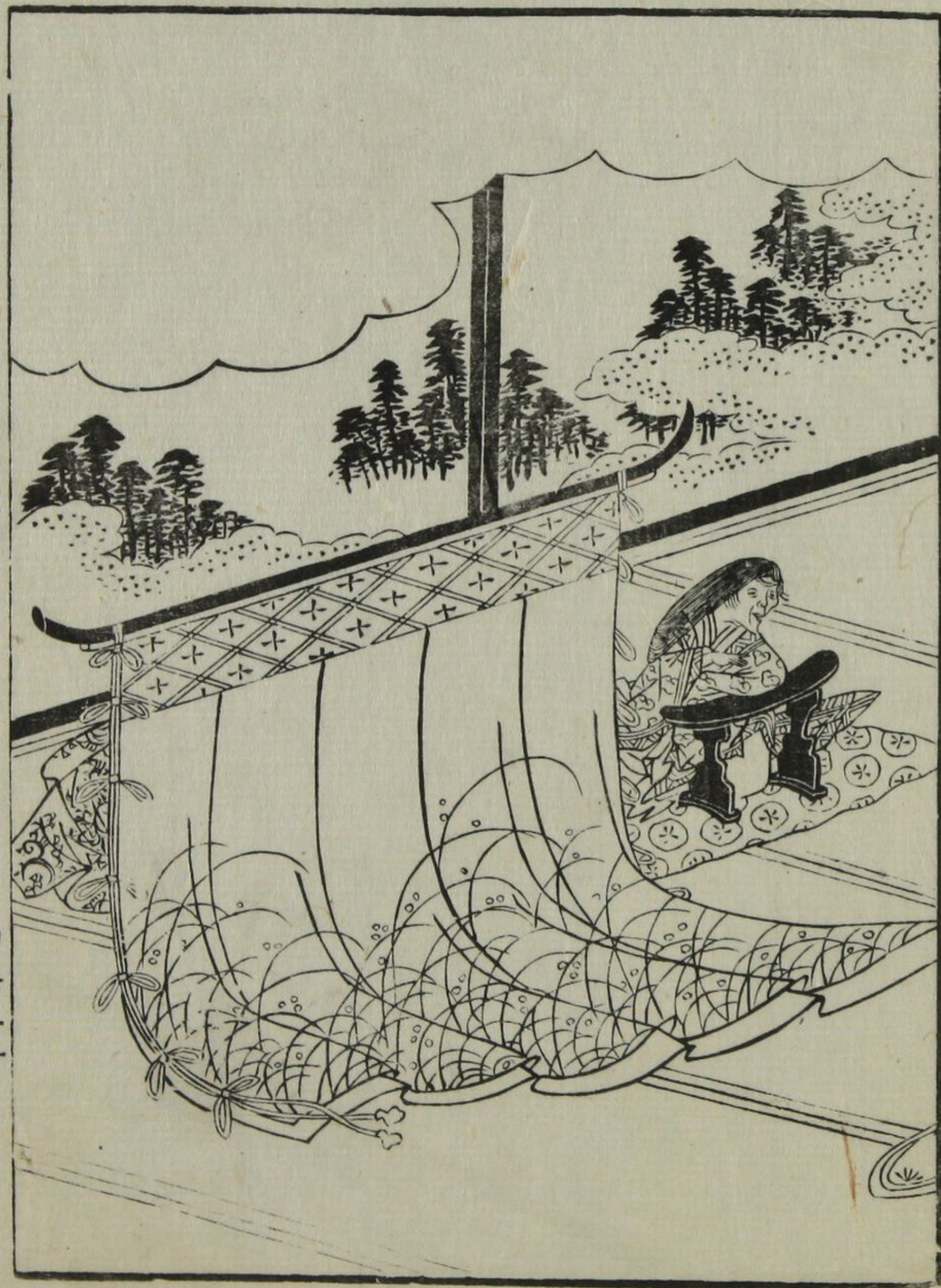
(八十三) むかーあやうにがとひたひーあはれなきに  
 あはれなきにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ  
 らうにさすにやよひのあはれなきにさすにとをせ



三十一



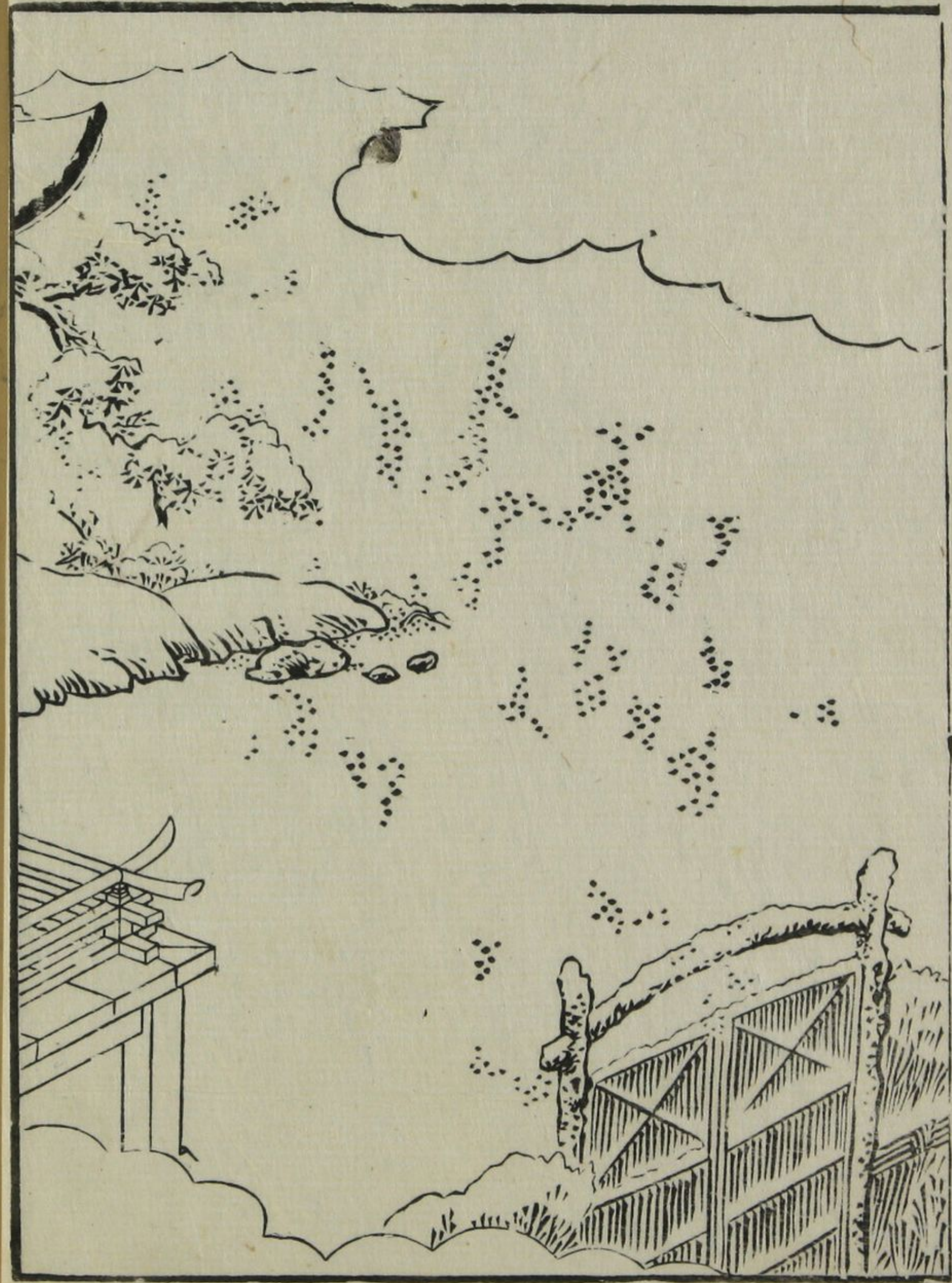
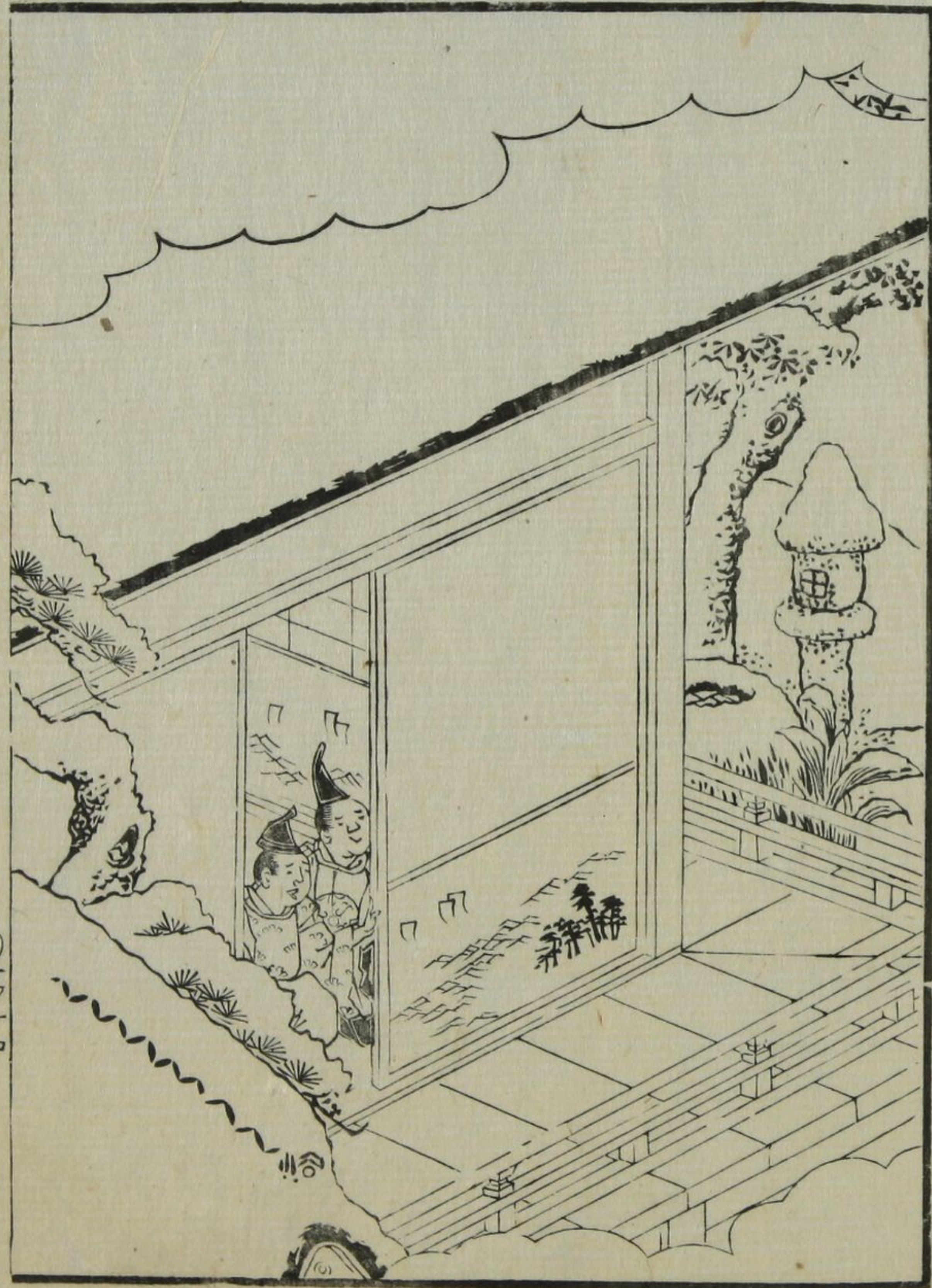




三十三



三十三



111

いへいさきしり〜た〜う〜

か〜い〜い〜い〜い〜い〜

廿七の〜い〜い〜い〜い〜い〜

い〜い〜い〜い〜い〜い〜

(八十五)

昔買まらり〜い〜い〜い〜い〜い〜

孫あてりりむ月まかみだ必ま〜い〜い〜い〜い〜

えま〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜

つ〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜

い〜い〜い〜い〜い〜い〜

酔よひ〜い〜い〜い〜い〜い〜

あ〜い〜い〜い〜い〜い〜

あ〜い〜い〜い〜い〜い〜

い〜い〜い〜い〜い〜い〜

て〜い〜い〜

(八十六)

む〜い〜い〜い〜い〜い〜

い〜い〜い〜い〜い〜い〜

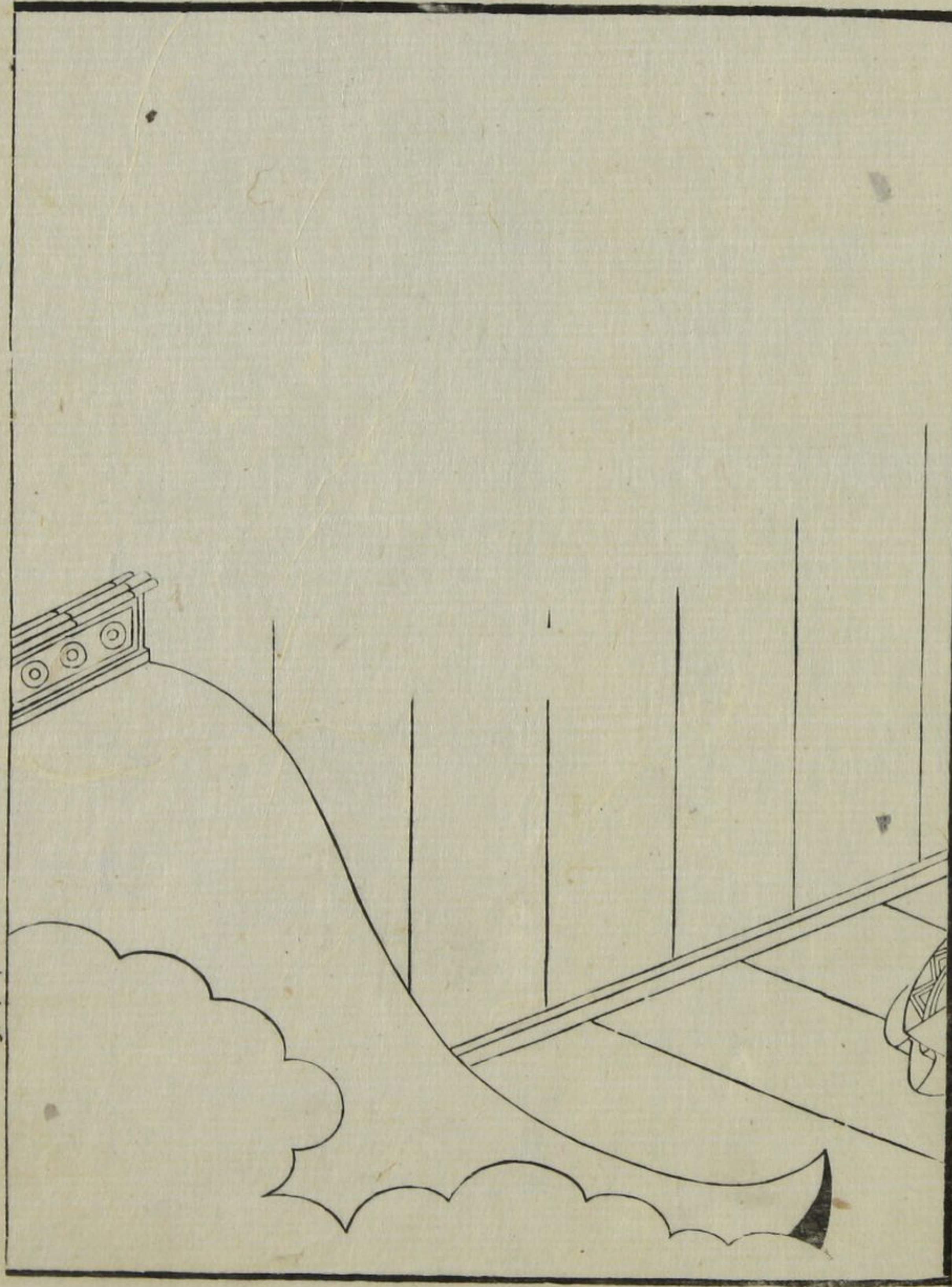
年としは〜い〜い〜い〜い〜い〜

い〜い〜い〜い〜い〜い〜

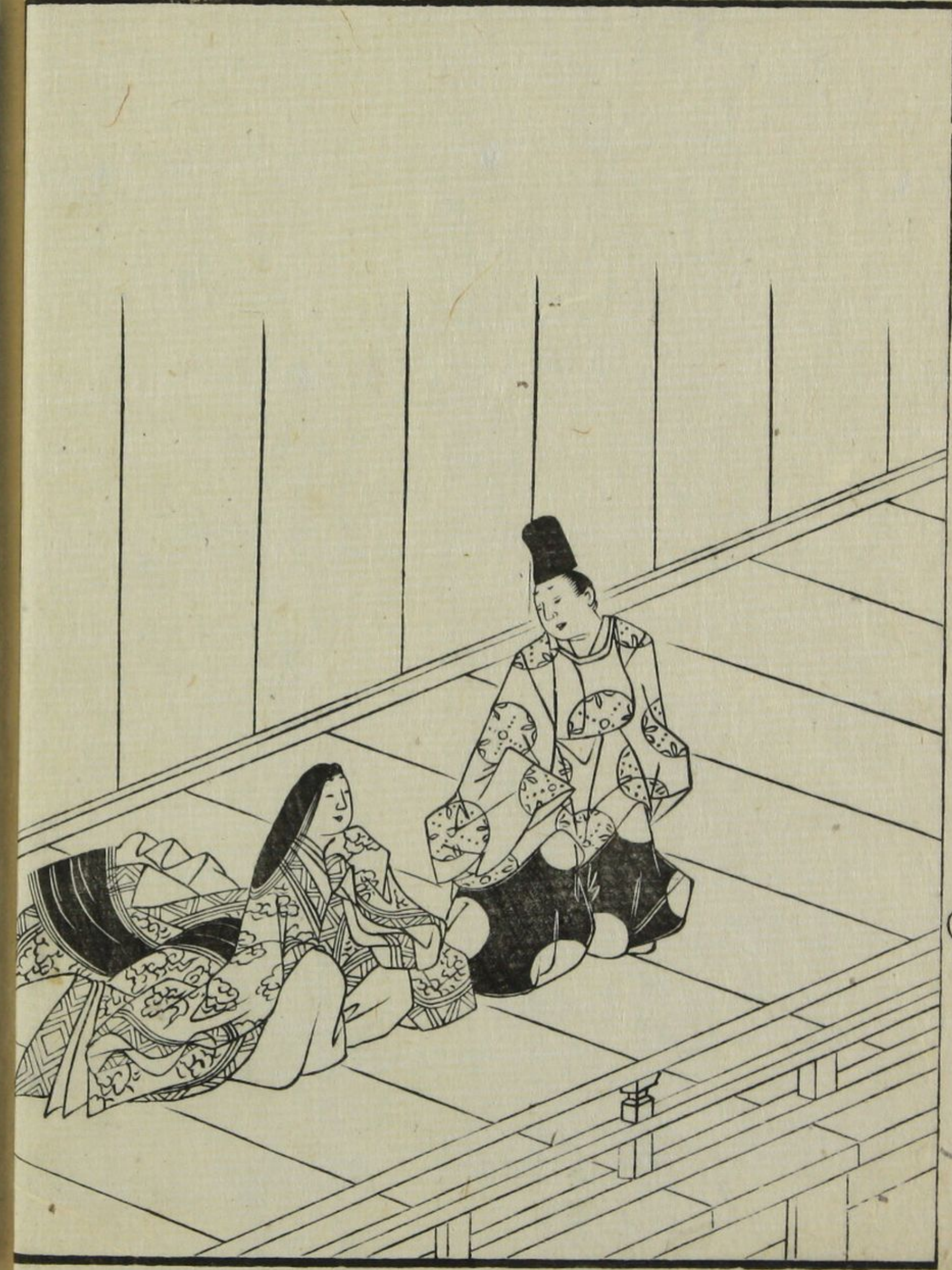
あ〜い〜い〜い〜い〜い〜

あ〜い〜い〜い〜い〜い〜





三  
六





三十七



Handwritten text in a cursive script, likely a continuation from the previous page.

① Handwritten text starting with a circled number 1, possibly indicating a new section or entry.

Handwritten text, possibly a signature or a specific heading within the entry.

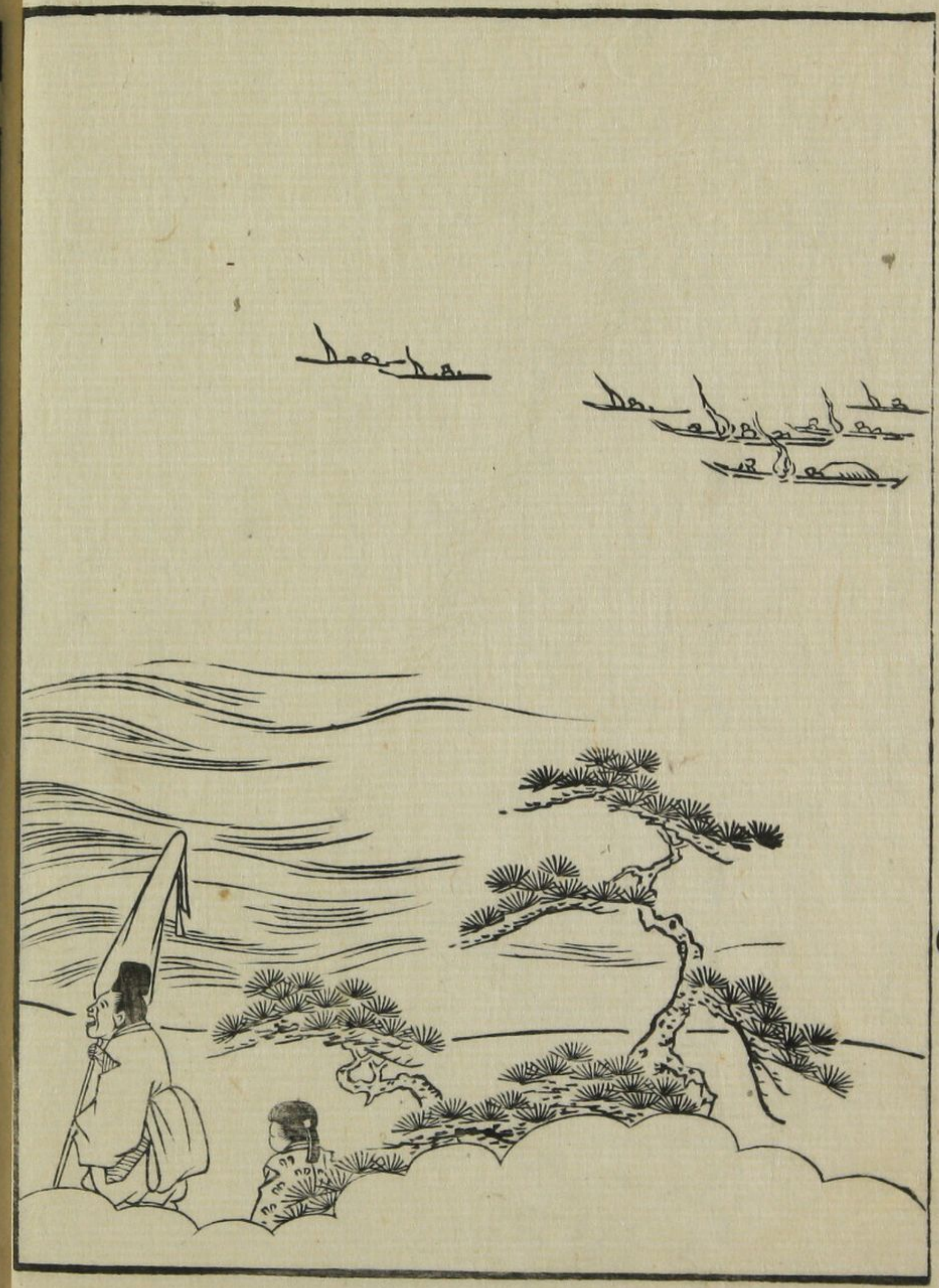
Main body of handwritten text on the right page, continuing the narrative or list.

Main body of handwritten text on the left page, continuing the narrative or list.

Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a date or a reference.



三千九



17

Handwritten text line 1

Handwritten text line 2

Handwritten text line 3

Handwritten text line 4

Handwritten text line 5

Handwritten text line 6

Handwritten text line 7

Handwritten text line 8

Handwritten text line 9

Handwritten text line 10

Handwritten text line 11

Handwritten text line 12

Handwritten text line 13

Handwritten text line 14

Handwritten text line 15

Handwritten text line 16

Handwritten text line 17

Handwritten text line 18

Handwritten text line 19

Handwritten text line 20

Handwritten text line 21

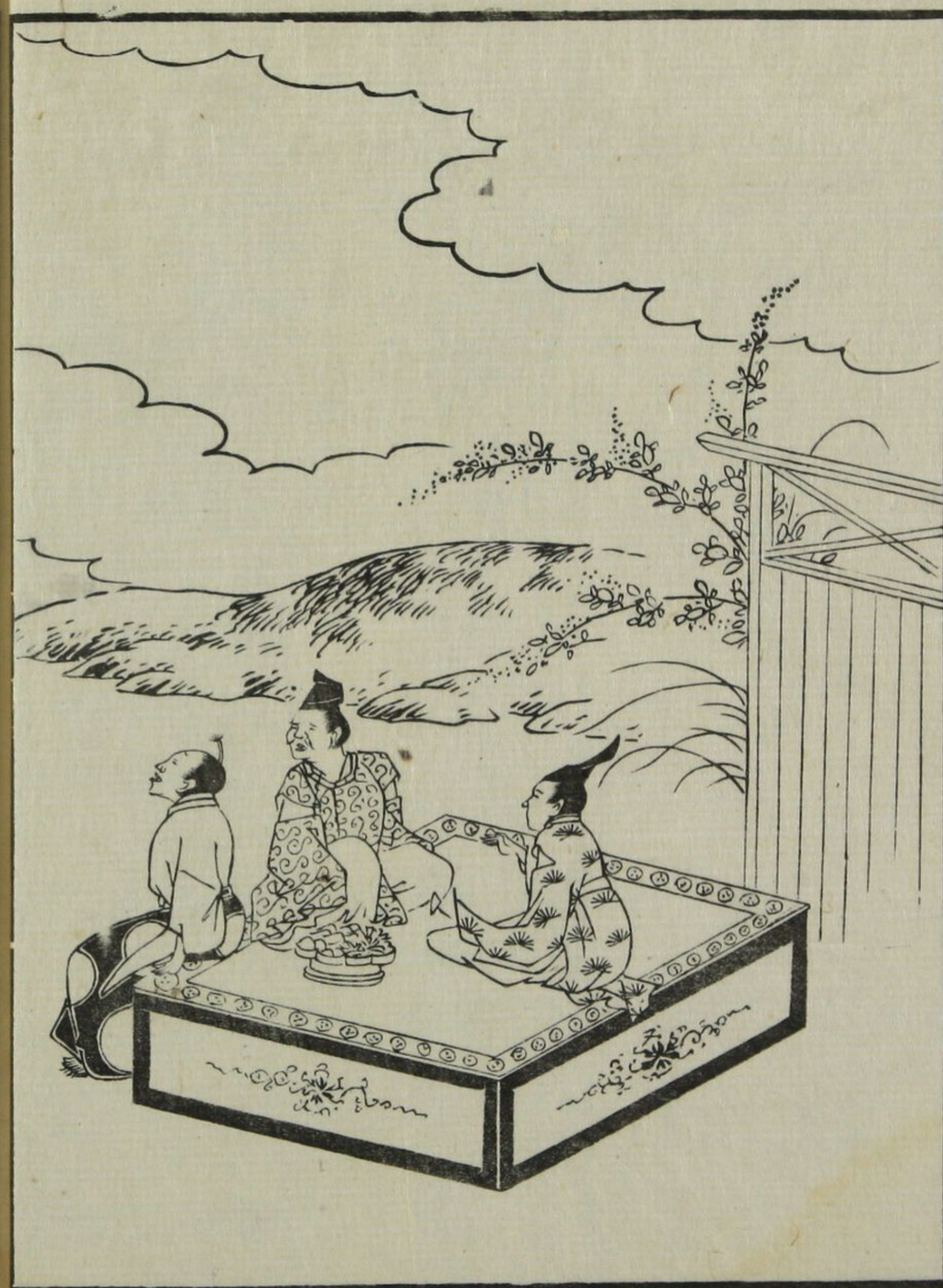


三ノ九一





三ノ九二



Handwritten text in cursive script, likely a continuation from the previous page.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

⑫ Handwritten text in cursive script, starting with a circled number 12.

Handwritten text in cursive script.

⑭ Handwritten text in cursive script, starting with a circled number 14.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

⑮ Handwritten text in cursive script, starting with a circled number 15.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

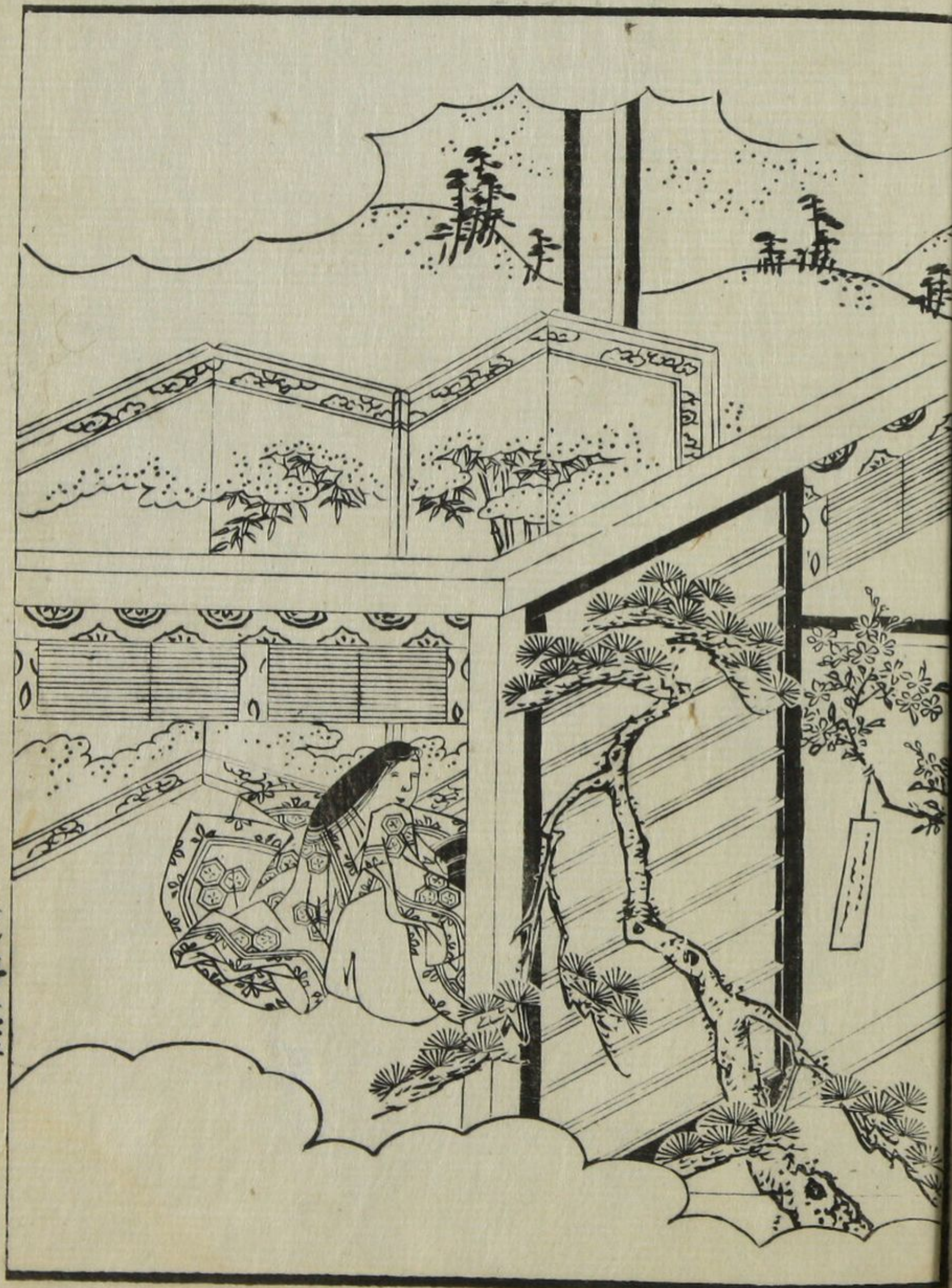
⑯ Handwritten text in cursive script, starting with a circled number 19.





三ノ廿四





(三)九五



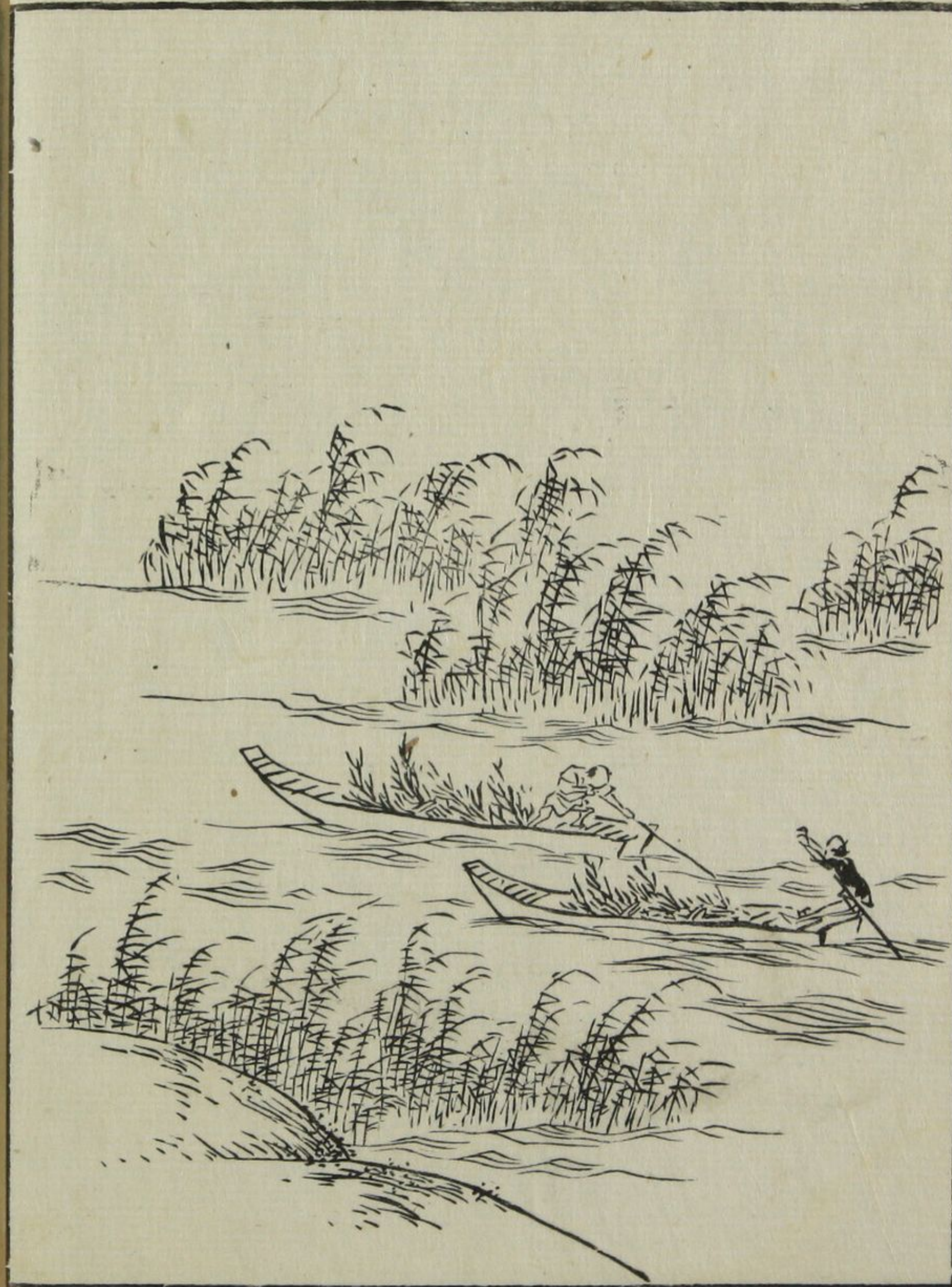


三ノ九六





三ノ九七



~~~~~  
~~~~~

⑨十三  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~

⑨十四  
~~~~~  
~~~~~

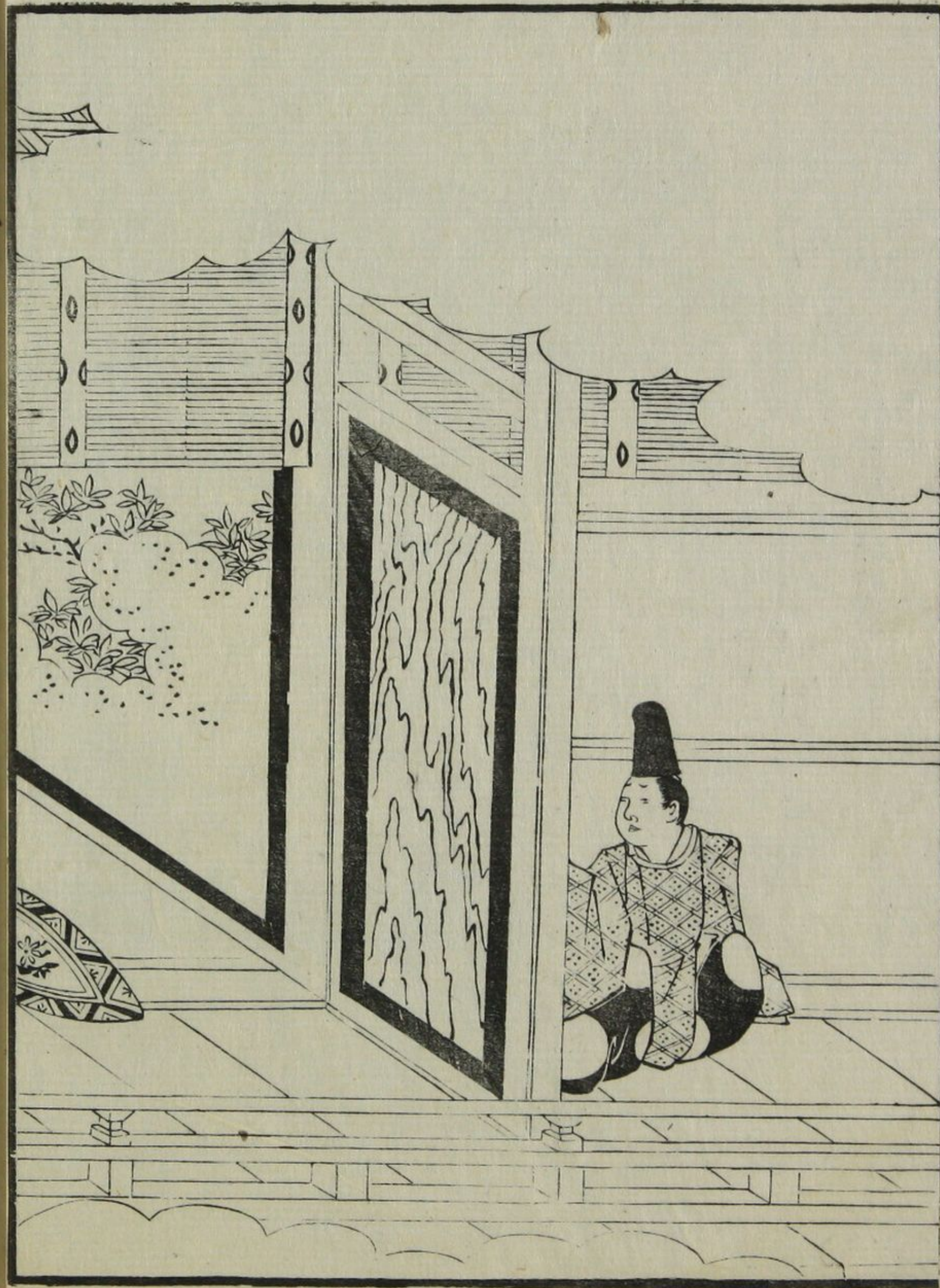
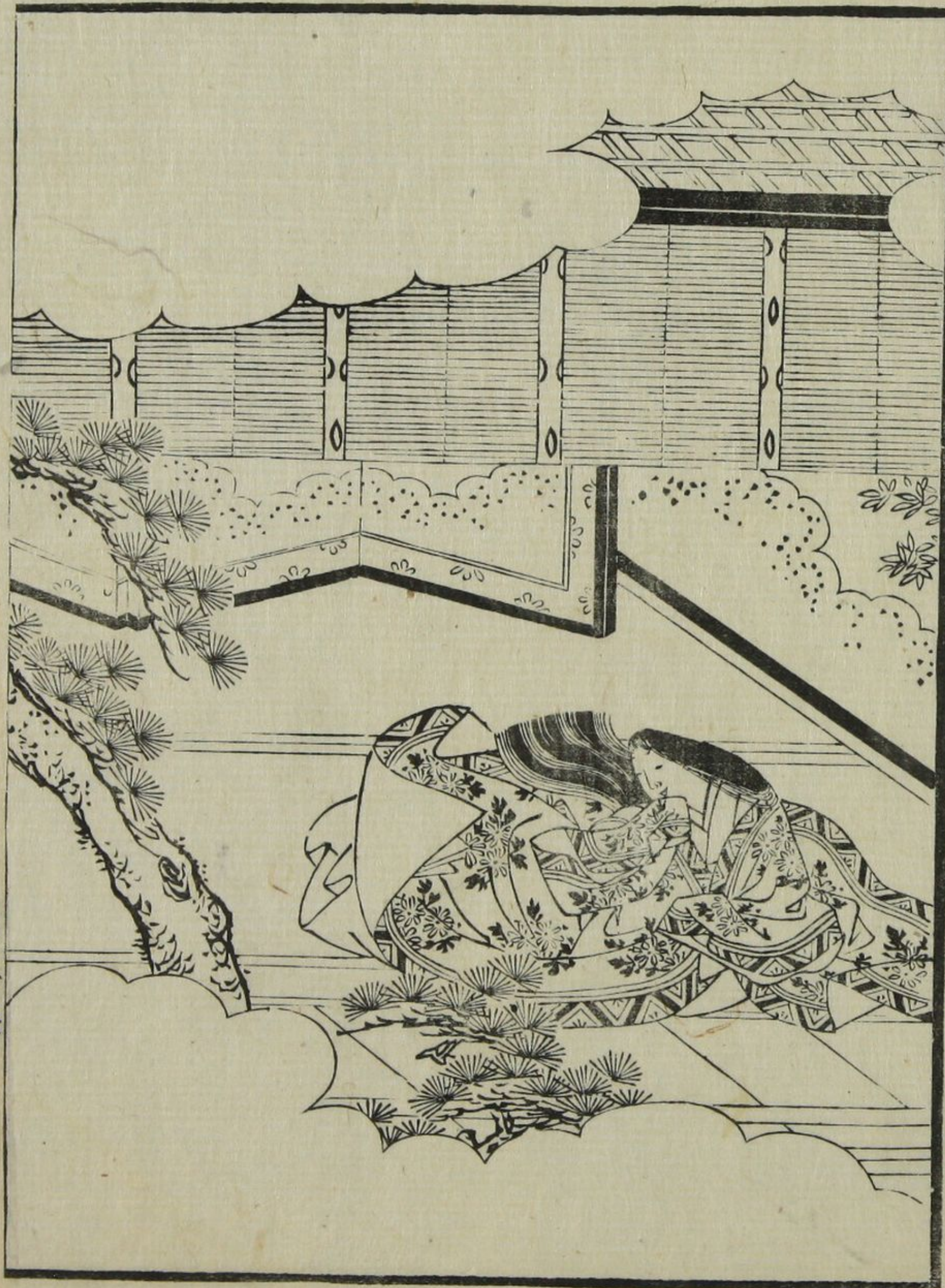
表名本六  
男トアリ  
モヨロシ

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~





ちぢれ粘ひつりのまきよひのまきよ

まきよのまきよのまきよのまきよ

(九十五)

むう二條の店にほろろまたほろろまたほろろ

女のほろろまたほろろつひほろろつひほろろつひ

いぞおどにきんきんおほつたなぐれめひはあゝる

事ささしはるさんといひくれに女のまのびておど

ささしはるさんといひくれに女のまのびておど

いぞおどにきんきんおほつたなぐれめひはあゝる

事ささしはるさんといひくれに女のまのびておど

このういねあでいひまうり

(九十六)

むうをいねあでいひまうり

くろいねあでいひまうり

やういねあでいひまうり

なりたれを女身よかさひらふ事ささしはるさん

ささしはるさんといひくれに女のまのびておど

ささしはるさんといひくれに女のまのびておど

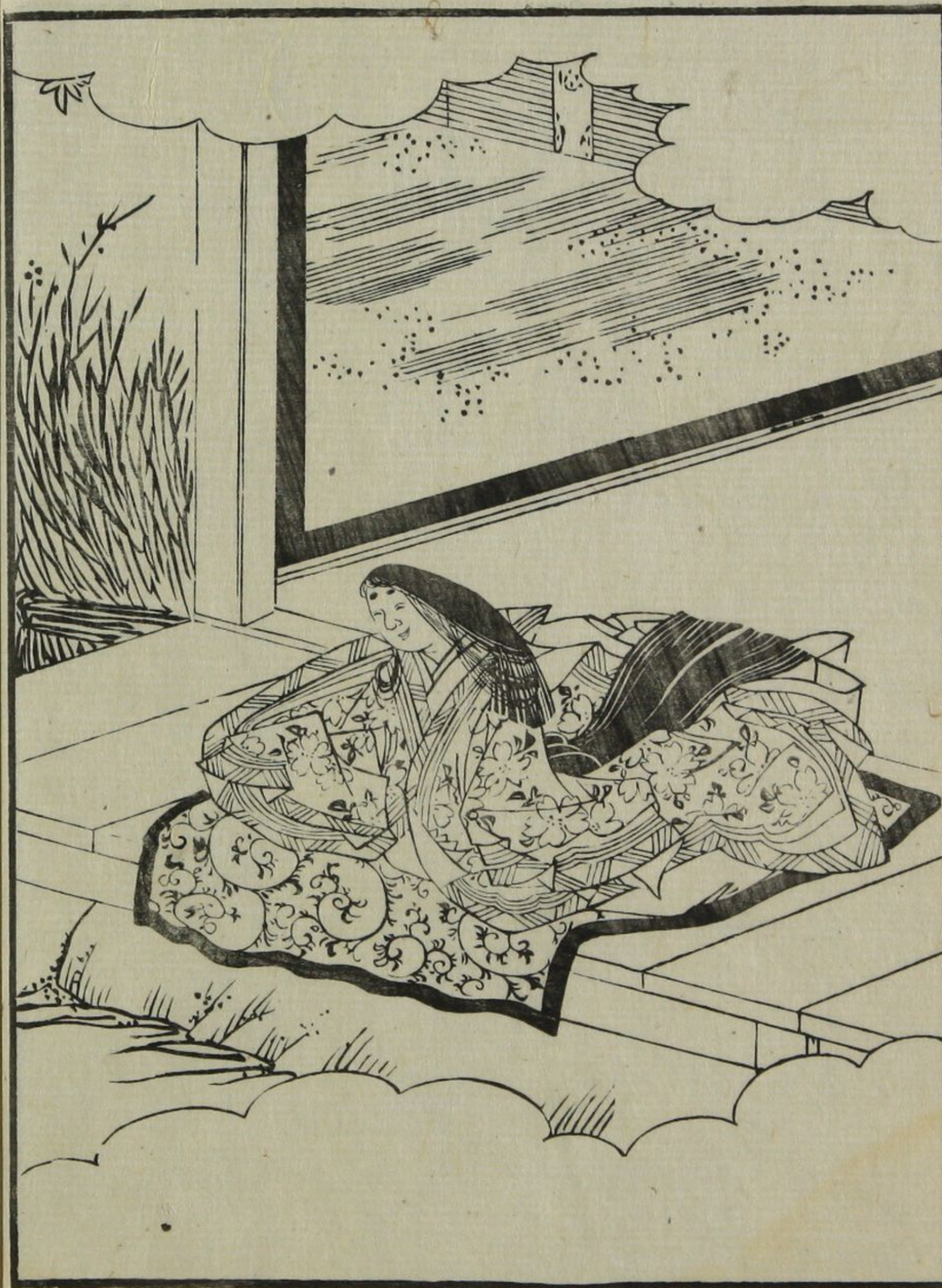
ささしはるさんといひくれに女のまのびておど

ささしはるさんといひくれに女のまのびておど

ささしはるさんといひくれに女のまのびておど

ささしはるさんといひくれに女のまのびておど





續てうまはけてあらせり

結うけていひ一おぐらもちろぬん

おれおれやうき〜えんをいふか

かゝるあはてが〜さう人おらせにれおれさうぬ  
こつおつこのちほひよけおれもき〜ひう〜て中んあ〜  
〜てやあ〜ん〜もき〜ひ〜おれ〜  
おれさうち〜たんのろしをなる〜おれ〜人ぬら  
〜おれ〜おれ〜や〜ん〜おれ〜おれ〜人ぬら  
〜んぬ〜さう〜なる

(九十七)

むか〜ほ〜んのおいさ〜ら〜んぬ〜んぬ〜んぬ

あつたりほ十のかゝ九条乃家うてせ〜れらる日中おるりる  
おんぬ

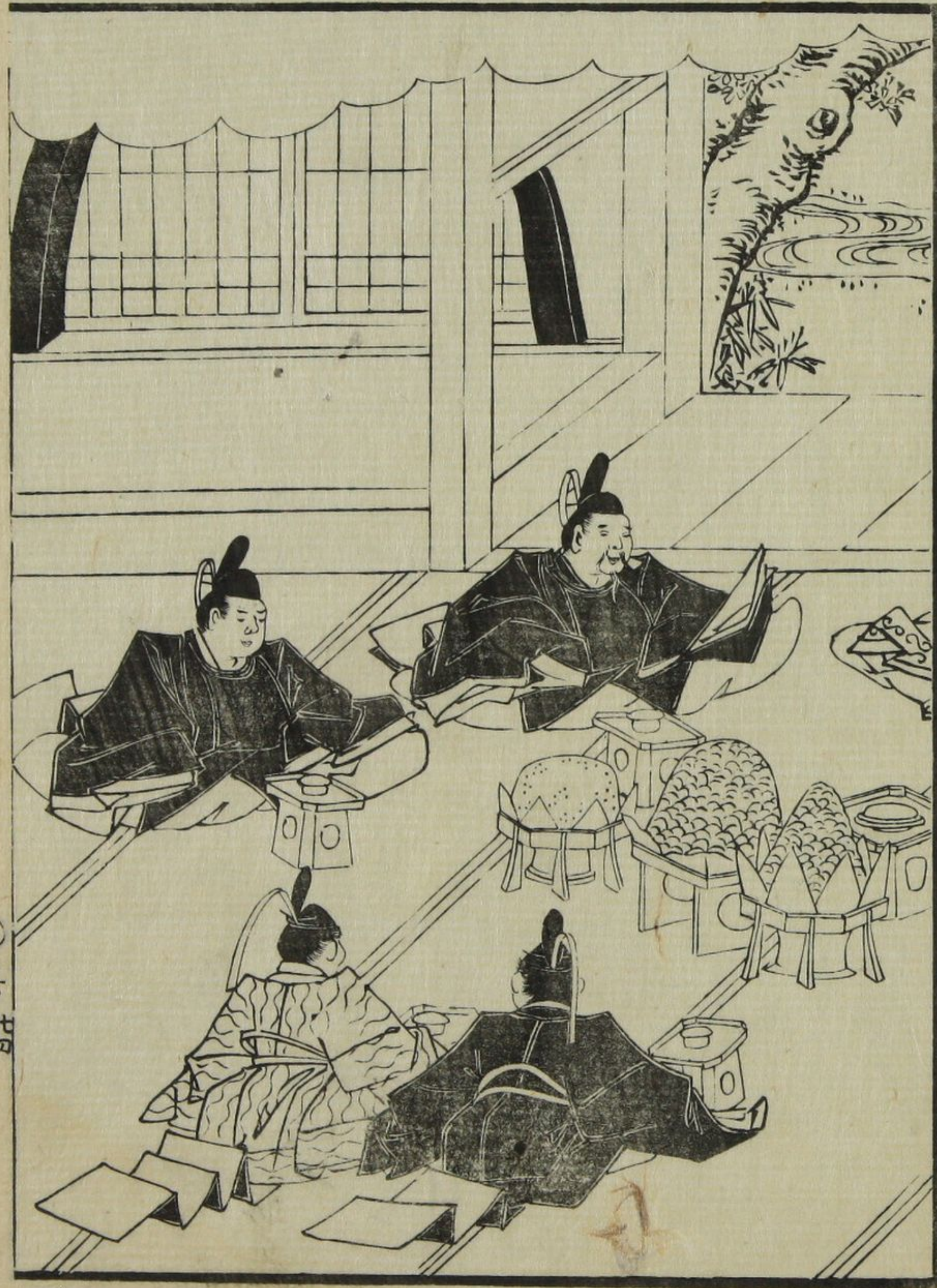
ほ〜んぬち〜んぬ〜おれ〜んぬ  
〜んぬ〜んぬち〜んぬ〜

(九十八)

お〜おれ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜  
〜んぬ〜おれ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜  
〜んぬ〜おれ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜

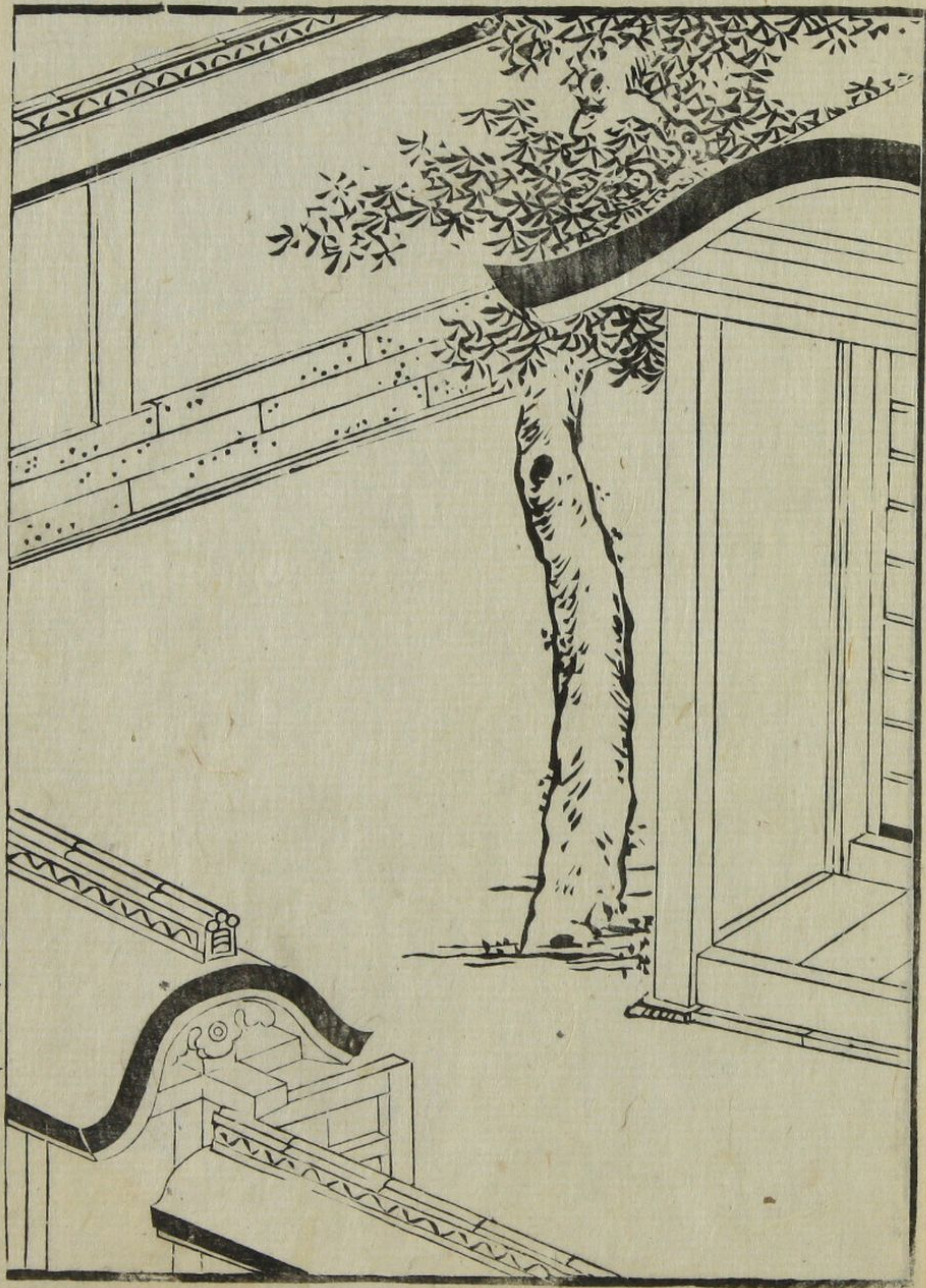
あ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜  
〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜

お〜おれ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜んぬ〜

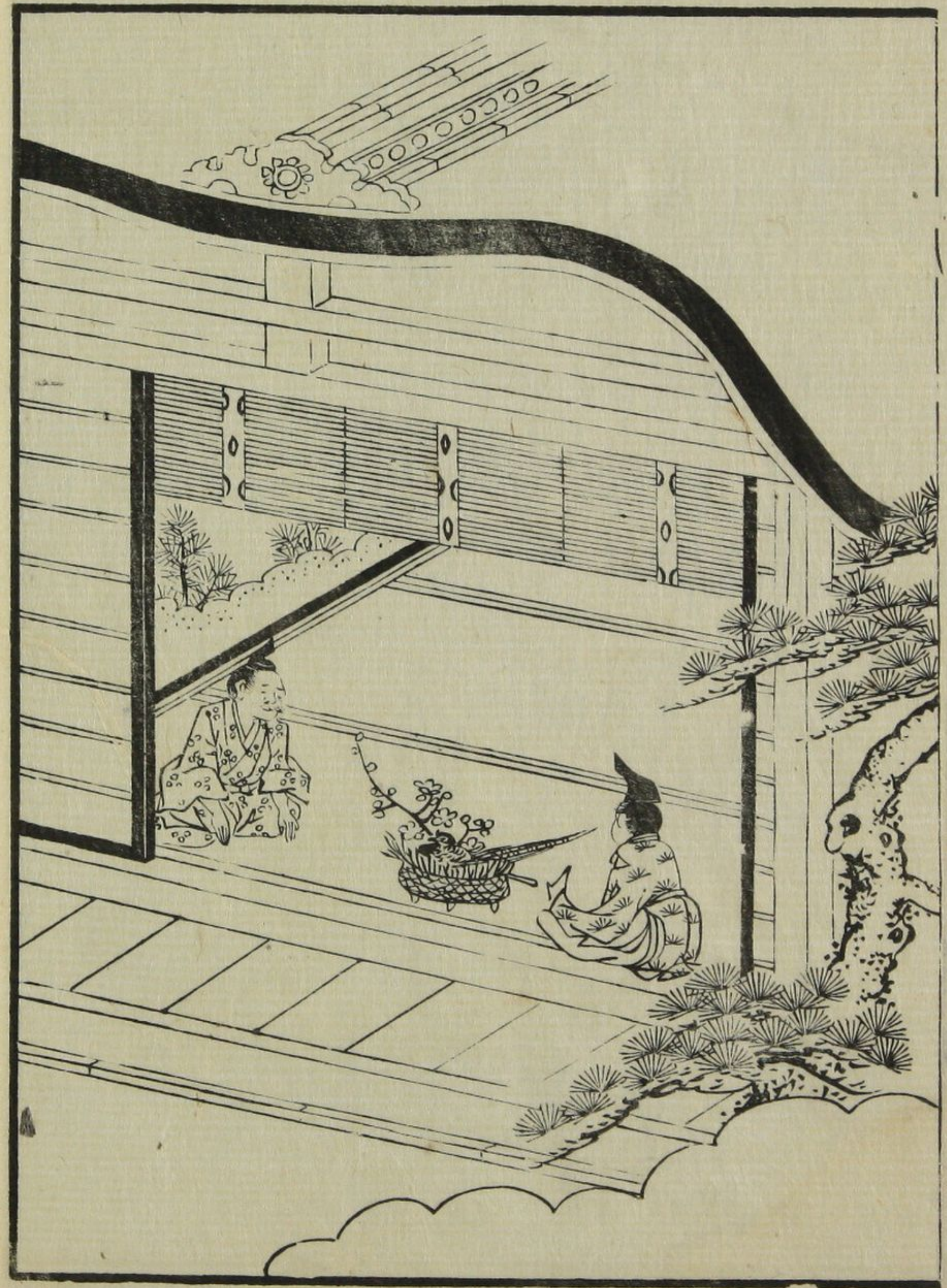


三ノ世四



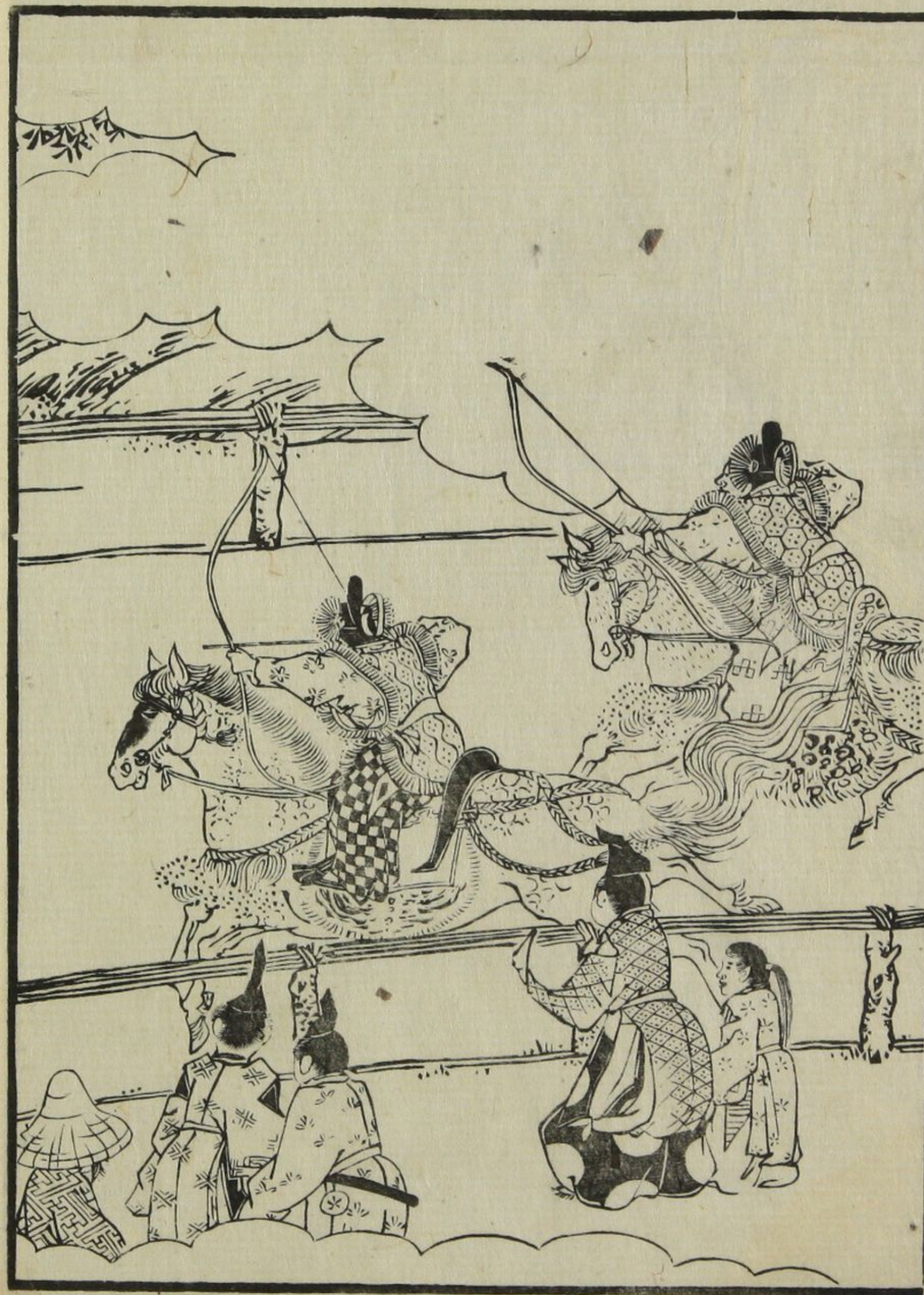


三三十五





三三六



まじしてほくしきまろく終りたり

九十九 むしー 右人のる場のしんいれおむいん

きりけふくまんとをれぬまいひいひりおめい  
んぐれい申おまろくまろくまろくまろく

まろくまろくまろくまろくまろく

えー あやまろくまろくまろく

あやまろくまろくまろくまろく  
あやまろくまろくまろくまろく

のらまろくとまろくまろく

百 むしー 後涼殿のまろくまろくまろくまろく

やんまろく人乃法はむよりおまろくまろくまろく  
やんまろくまろくまろくまろくまろく

まろくまろくまろくまろくまろく

まろくまろくまろくまろく

九十九 むしー 右清持ありまろくまろくまろくまろく

まろくまろくまろくまろくまろくまろく  
まろくまろくまろくまろくまろくまろく

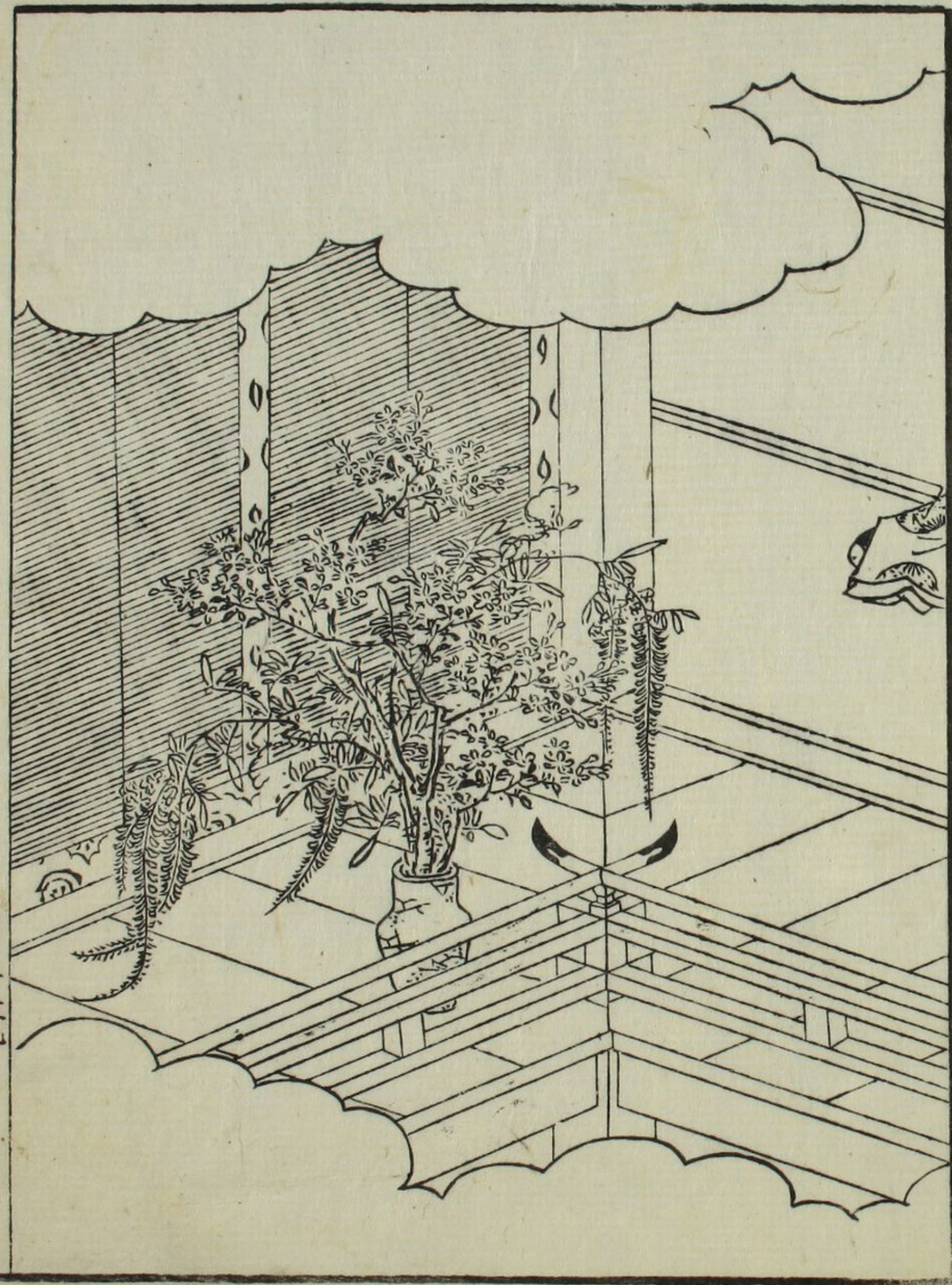
まろくまろくまろくまろくまろくまろく  
まろくまろくまろくまろくまろくまろく

まろくまろくまろくまろくまろくまろく



三ノ八





三ノ丸九





まはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
たふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
まはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

こゝのまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

たふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
まはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

百 じうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

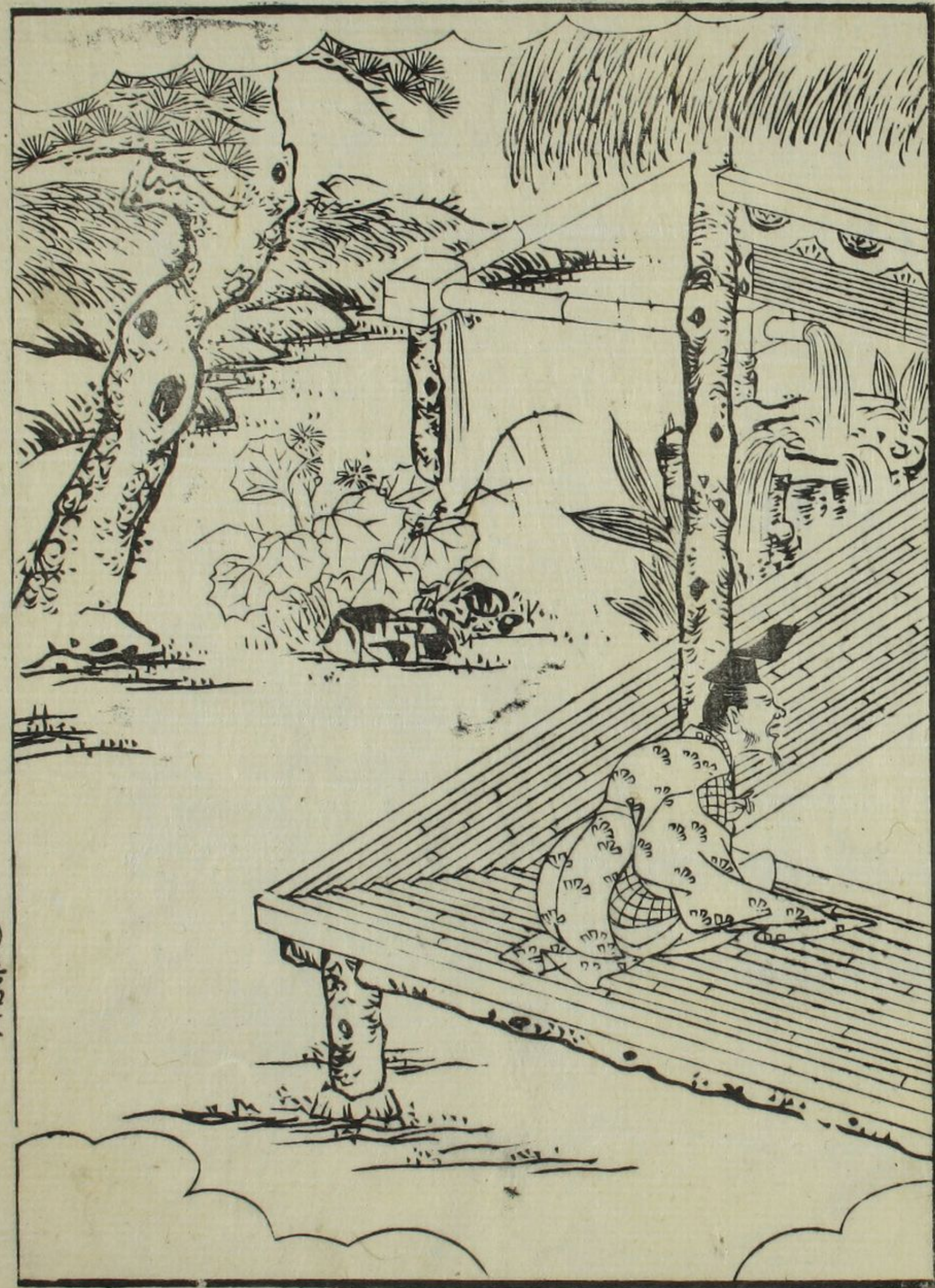
たふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
まはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

まはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

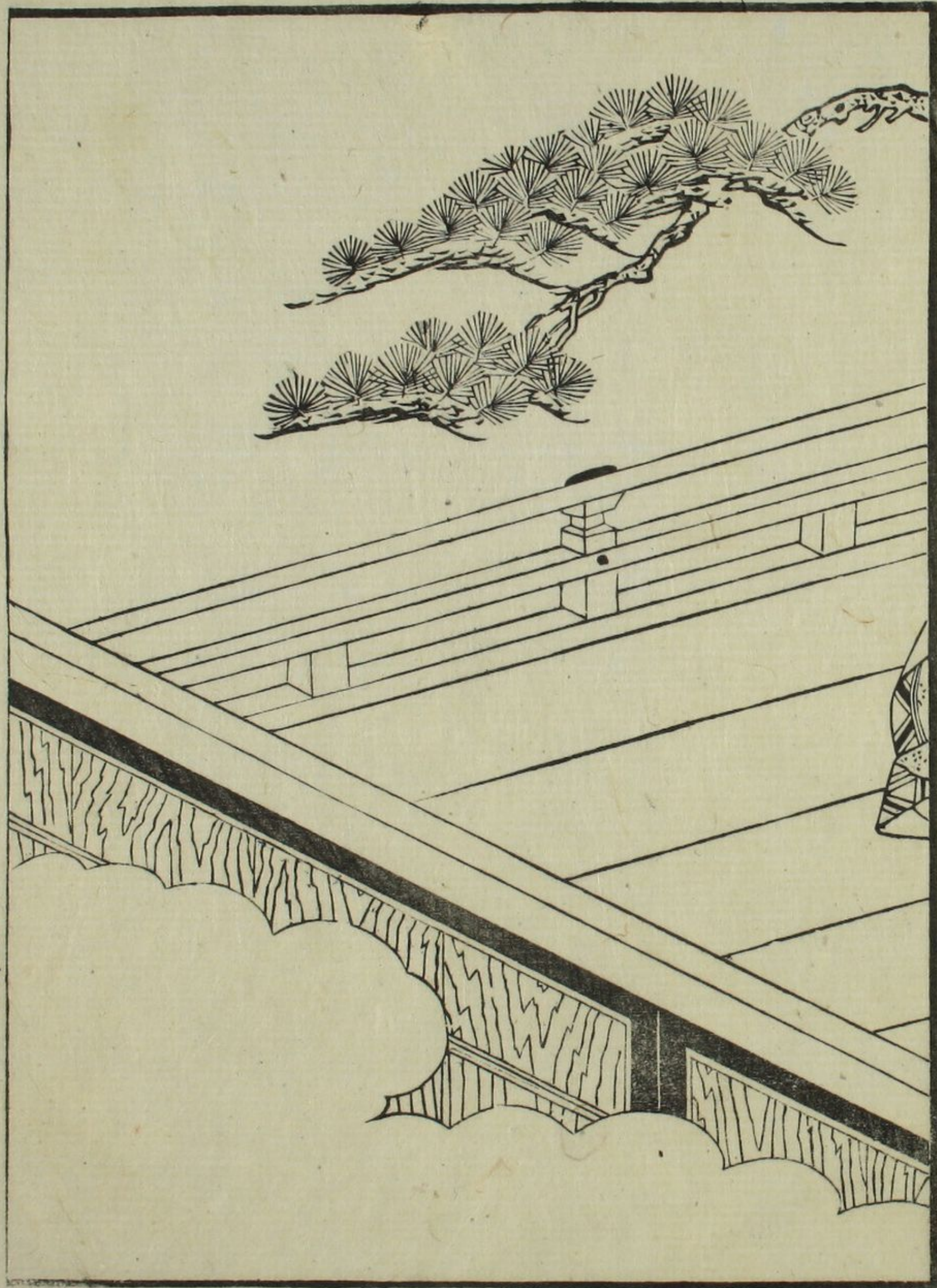
らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから

百一 じうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
まはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから  
らふりうーまはなすのあてよむいふてかたにらまーのさうから



三十一





二ノ下





川十郎



はるかに花の香りのこころを  
よみかたのついでに

かきかへてはるかに花の香りのこころ

(百四) かしら花の香りのこころをよみかたのついでに

おそろに花の香りのこころをよみかたのついでに  
かきかへてはるかに花の香りのこころ

はるかに花の香りのこころをよみかたのついでに

かきかへてはるかに花の香りのこころ

これに花の香りのこころをよみかたのついでに  
かきかへてはるかに花の香りのこころ

(百五) かしら花の香りのこころをよみかたのついでに  
かきかへてはるかに花の香りのこころ

はるかに花の香りのこころをよみかたのついでに  
かきかへてはるかに花の香りのこころ

かしら花の香りのこころをよみかたのついでに  
かきかへてはるかに花の香りのこころ

(百六) かしら花の香りのこころをよみかたのついでに  
かきかへてはるかに花の香りのこころ

かしら花の香りのこころをよみかたのついでに  
かきかへてはるかに花の香りのこころ





(百七)

むかひにけるなるまゝにいらせりうれしむすはひ  
 なりけふひとを肉體こたいにありたるたう處ところにありては  
 人をもくつゝしむしむかゝるるをけしむるものなり  
 かりけふはまじきまじきかゝるるをけしむるものなり  
 うれしむかゝるる人あはれむしむかゝるるをけしむるものなり  
 まじきまじきをけしむるものなり

はまじきのあはれむしむるはなむしむる

うれしむしむるにむしむる

かゝるるをけしむるものなり

うれしむしむるにむしむる

うれしむしむるにむしむる

うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる

うれしむしむるにむしむる

うれしむしむるにむしむる

うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる  
 うれしむしむるにむしむる





三ノ四六



百八

わいーかーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

百九

わいーわーわーわーわー

わいーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

百十

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

百十一

わいーわーわーわーわー

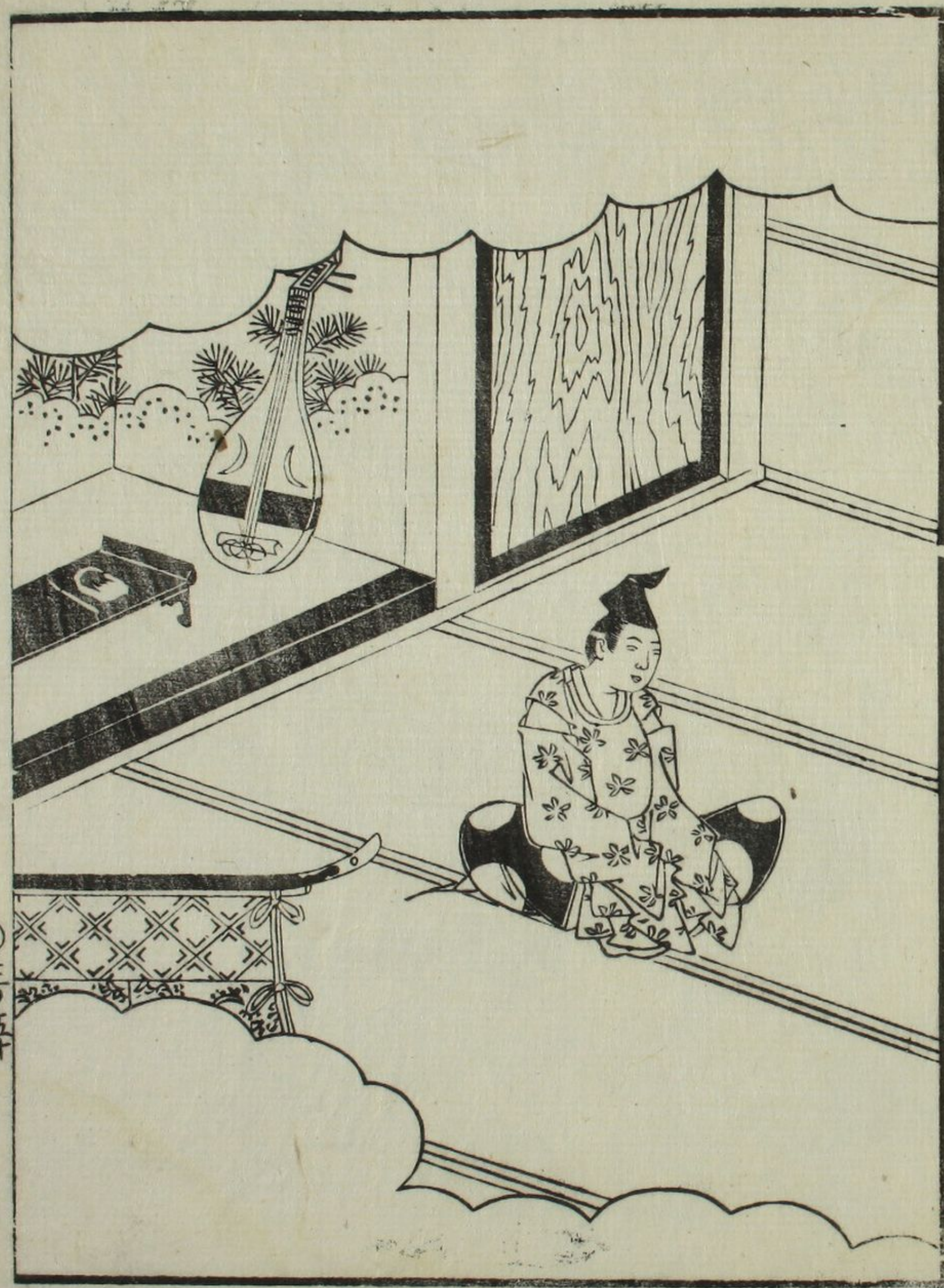
わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー

わいーわーわーわーわー



三ノ五十





三十一





~~~~~

~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~

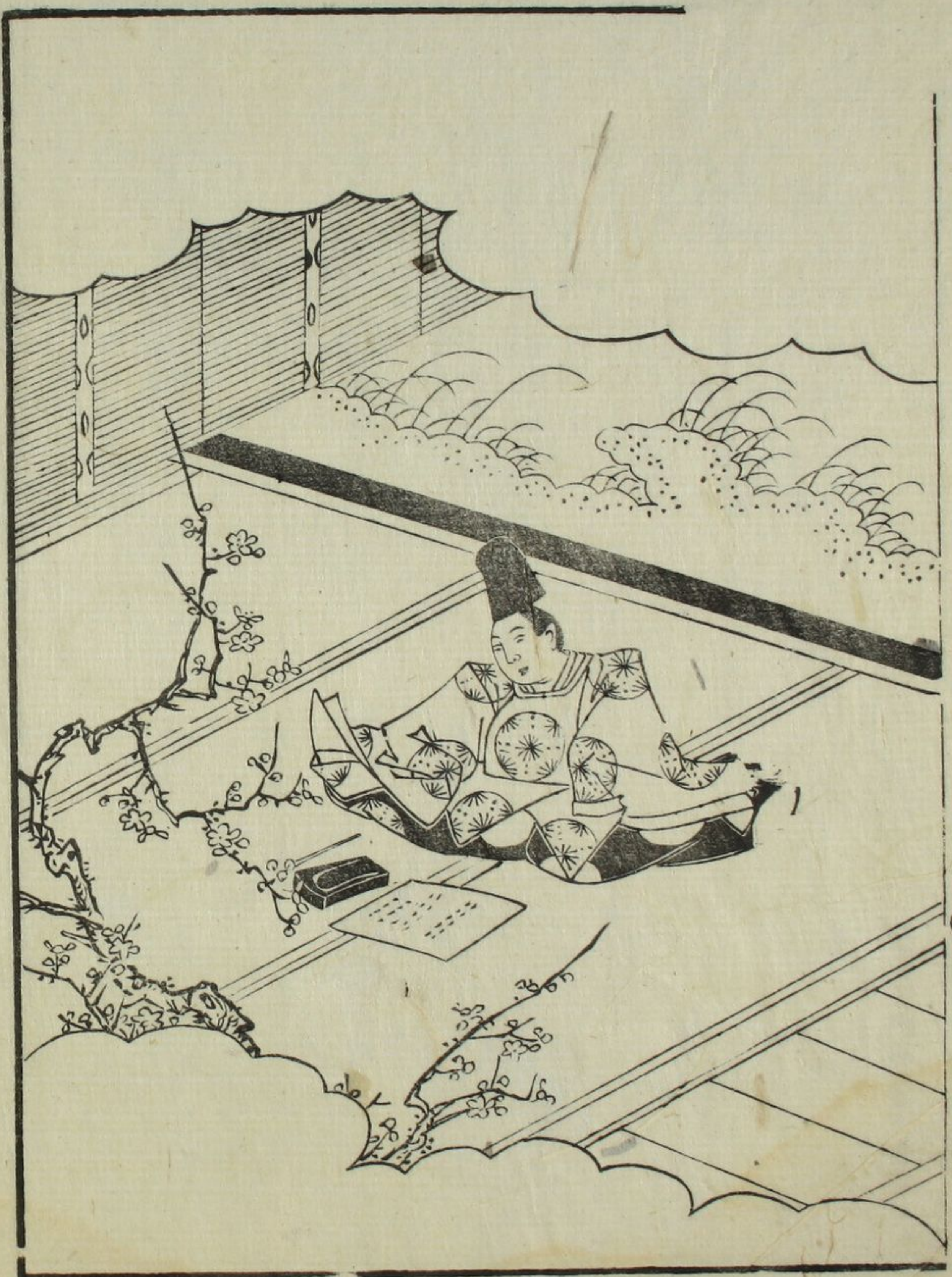
(百十三)

よなりぬれり

~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~

(百十四)

~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~



(頁四)

しー仁和のみつせりかたにさかきかき志強ひ  
くろくたひさしきつせりかたにさかきかき志強ひ  
にから本ふれおさきとれあかひとらさきいせ強ひ  
ちりさかきかたにさかきかき志強ひ

よ  
にさかきかたにさかきかき志強ひ

ねおかけのさかきかたにさかきかき志強ひ  
ちりさかきかたにさかきかき志強ひ

(頁五)

むしのみらけ國さかきかたにさかきかき志強ひ  
さかきかたにさかきかき志強ひ

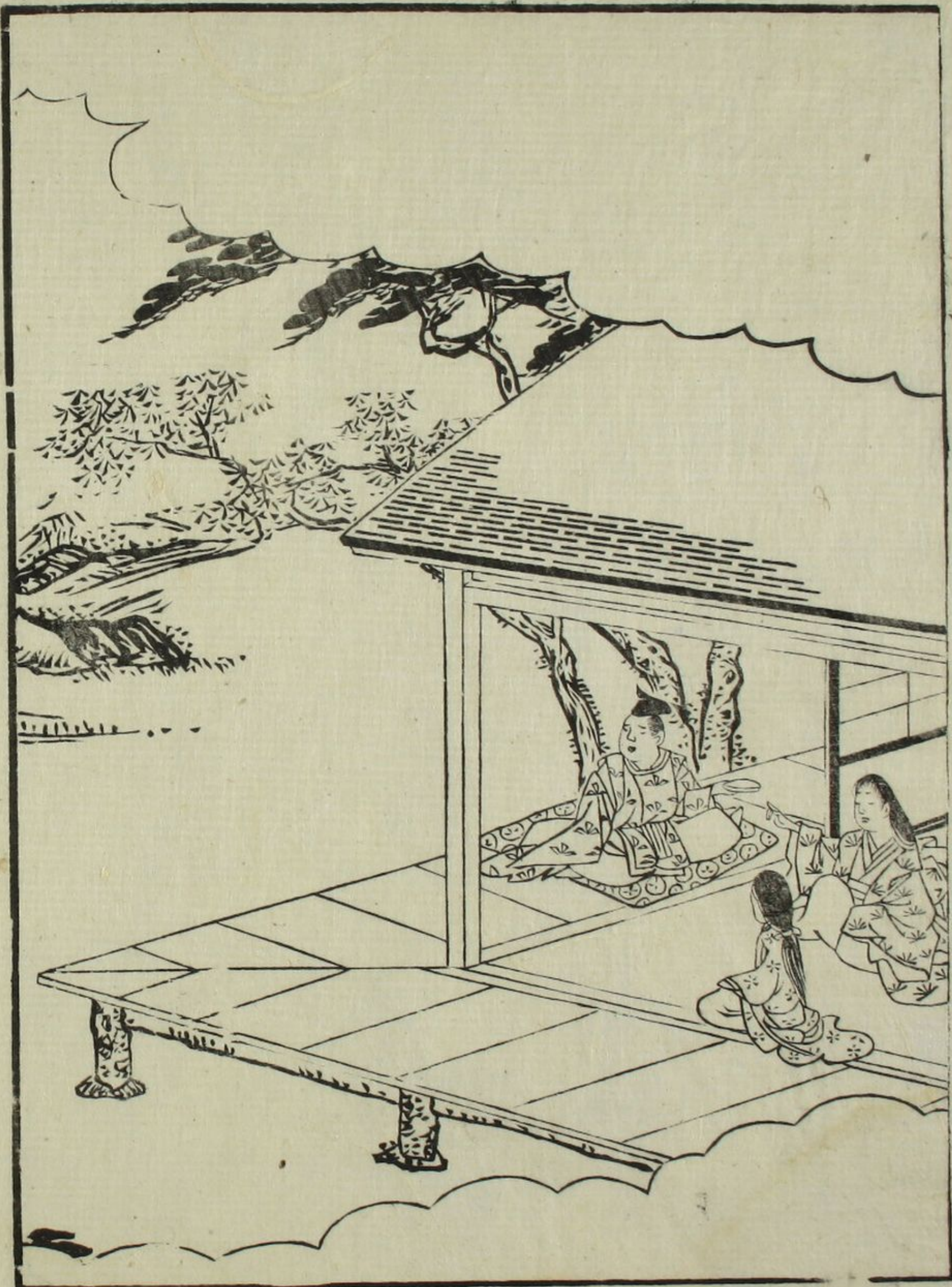


三ノ五十四





三ノ五





せんくちりてのちいなるしつるふさむしつるふさむのちのちのち  
まててゝゝゝゝ

いふがくしつるふさむのちのちのち  
いふがくしつるふさむのちのちのち

百六  
せんくちりてのちいなるしつるふさむしつるふさむのちのちのち

いふがく  
いふがくしつるふさむのちのちのち  
いふがくしつるふさむのちのちのち

せんくちりてのちいなるしつるふさむしつるふさむのちのちのち

百七

せんくちりてのちいなるしつるふさむしつるふさむのちのちのち





三  
五  
十  
七





~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~

ねんねんねんねんねんねんねん

~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~

~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~

① ねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

ねんねんねんねんねんねんねん

~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~

~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~

② ねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん



おきり

おきりてんりてんりてんりてんり  
 てんりてんりてんりてんり

○

おきりてんりてんりてんりてんり  
 てんりてんりてんりてんり

おきりてんりてんりてんりてんり

おきりてんりてんりてんりてんり

○

おきりてんりてんりてんりてんり  
 てんりてんりてんりてんり

おきりてんりてんりてんりてんり

おきりてんりてんりてんりてんり

おきりてんりてんりてんりてんり



百廿三

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

百廿二

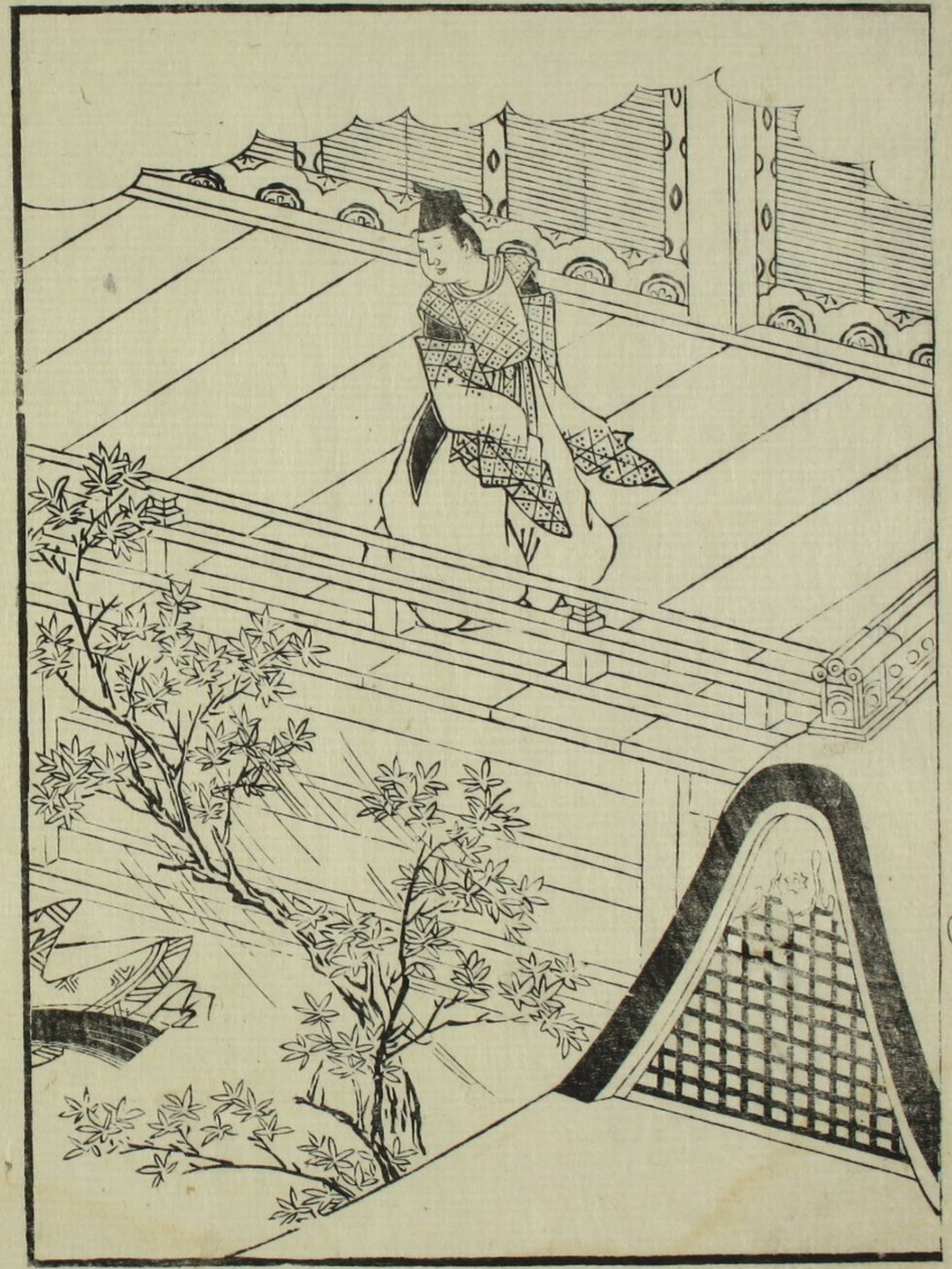
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

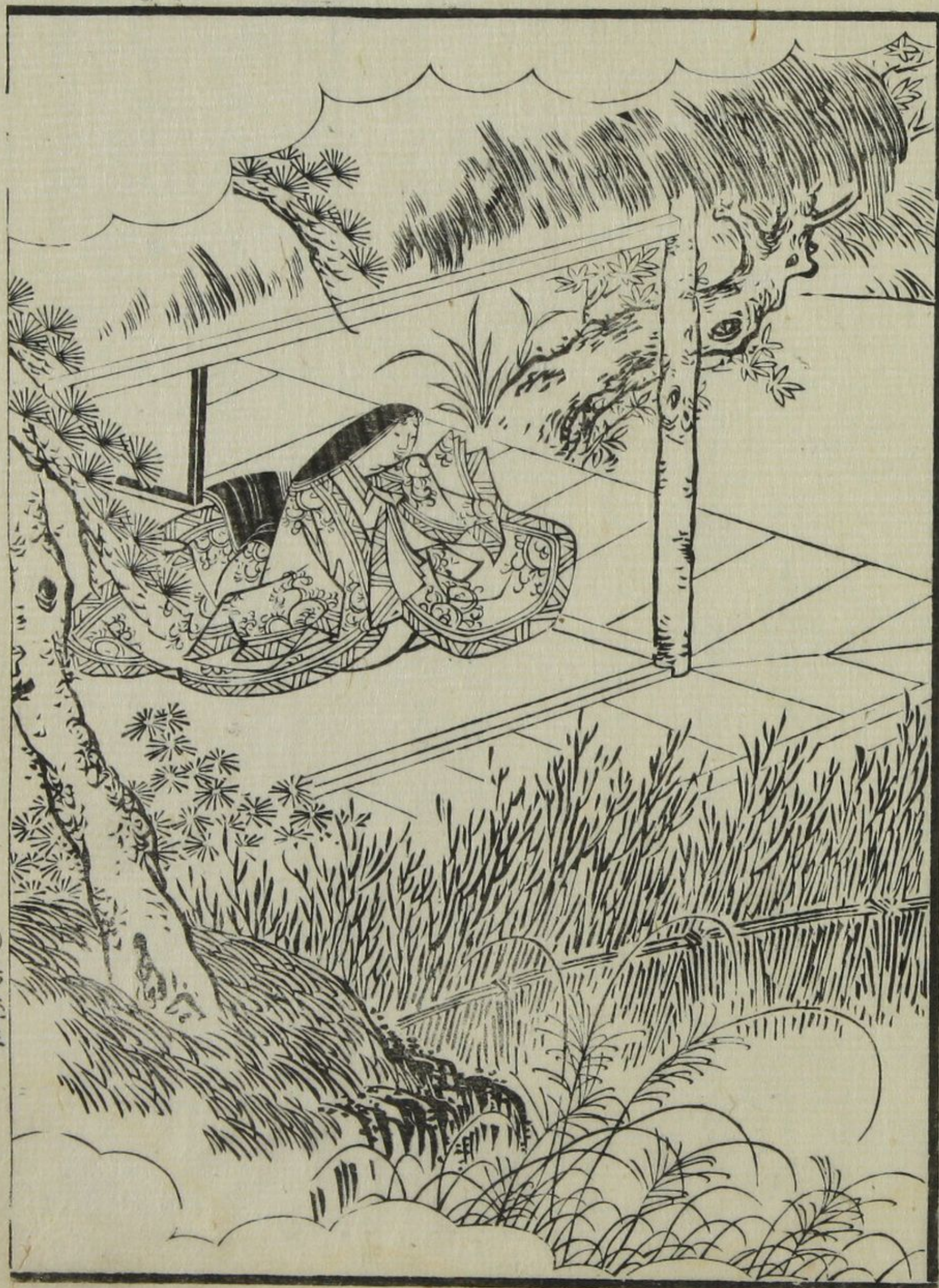
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



三六十一







三ノ六三





少くもせんしりきるはきりてかゝるはちてはなちなり  
 しらり

(頁四) まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 小ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 (頁五)

まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 まゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ



文政八年乙酉秋

江戸

鶴屋金助

同

大坂屋茂吉

大坂

河内屋曾七

京

吉野屋仁兵衛

名古屋

永樂屋東四郎

同

美濃屋伊六

書林

伊勢物語圖會	三冊	百人一首摘要鈔	二冊	王之小櫛補遺	二冊
柏玉和哥集	三冊	雪玉和哥集	十冊	碧玉和哥集	三冊
題詠連璧集	一冊	馬名合之解	一冊	德本上人詠奇諺註	一冊
歌學集腋	四冊	信濃漫錄	二冊	名所今歌集	七冊
鹽尻初帙	近刻	同上	同上		

發行書林

名古屋小牧町

美濃屋伊六

